

令和3年度 戸塚区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	身近で親しみのある区役所づくり事業	5,485	5,485	4,542	4,542	943	943
2	誰もが安全・安心に利用できる区民利用施設環境整備事業	2,150	2,150	0	0	2,150	2,150
3	区民に身近な広聴・効果的で分かりやすい広報事業	2,561	2,161	1,660	1,255	901	906
4	歴史を活かしたまちづくり事業	1,463	1,463	1,064	1,064	399	399
5	とつかブランド向上事業	461	461	605	605	△144	△144
6	とつか環境未来エコライフ事業	1,078	1,078	1,323	1,323	△245	△245
7	戸塚駅周辺サイン改修・設置事業	200	200	4,000	4,000	△3,800	△3,800
8	とつかものづくり支援事業	2,525	2,525	3,326	3,326	△801	△801
9	活気あるとつか商店街支援事業	1,339	1,339	550	550	789	789
10	とつか花できれいなまちづくり事業	1,899	1,899	1,859	1,859	40	40
11	とつか地域づくり支援事業	1,274	1,274	1,150	1,150	124	124
12	美化推進事業	1,348	1,348	1,595	1,595	△247	△247
13	戸塚区民まつり事業	4,010	4,010	3,907	3,907	103	103
14	自治会町内会連絡調整事業	3,686	3,686	3,498	3,498	188	188
15	とつか魅力再発見事業	784	784	724	724	60	60
16	「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業	12,510	12,510	10,443	10,443	2,067	2,067
17	防犯力強化事業	4,715	4,715	4,895	4,895	△180	△180
18	交通安全・放置自転車対策事業	5,815	5,815	6,035	6,035	△220	△220
19	区民活動支援事業	8,933	8,933	7,972	7,972	961	961
20	地域文化振興事業	1,500	1,500	1,300	1,300	200	200
21	とつか音楽の街づくり事業	3,700	3,700	3,700	3,700	0	0
22	スポーツ・レクリエーション振興事業	1,997	1,997	2,682	2,682	△685	△685
23	青少年健全育成事業	1,565	1,565	1,610	1,610	△45	△45
24	子育て応援事業	4,281	4,281	4,338	4,338	△57	△57
25	保育所地域子育てパワーアップ事業	2,668	2,620	2,696	2,636	△28	△16
26	子どもと家庭を支える虐待防止環境づくり事業	2,819	2,819	2,251	2,251	568	568

令和3年度 戸塚区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書 番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」運営事業	8,558	8,558	9,133	9,133	△ 575	△ 575
28	とつか健康パワーアップ事業	2,616	2,616	2,804	2,804	△ 188	△ 188
29	大学と連携した親子健康づくり事業	487	487	1,143	1,143	△ 656	△ 656
30	子育て家庭のヘルスアップ事業	1,256	1,256	1,533	1,533	△ 277	△ 277
31	とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)推進事業	5,651	5,651	6,647	6,647	△ 996	△ 996
32	～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業	1,029	1,029	1,001	1,001	28	28
33	戸塚区地域包括ケアシステム構築推進事業	2,700	2,700	3,287	3,287	△ 587	△ 587
34	食と暮らしの安全・安心応援事業	1,246	1,246	1,119	1,119	127	127

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 戸塚区 総務課 ]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費 区役所総務費	性質・ 課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善 窓口サービス向上	事業開始年度	平成6年度
------	------------------	-------------	----------------------------	--------	-------

事業名
身近で親しみのある区役所づくり 事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,485					5,485
前年度	4,542					4,542
増△減	943	0	0	0	0	943

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,030	3,000	3,122	予算	事業費	5,000	5,000
	メリット+一般財源	3,030	3,000	3,122		一般財源	5,000	5,000
決算	事業費	3,120	2,890	2,970	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	3,120	2,890	2,970	有:件名( )、日付( 年 月 )			
(無)								

事業の概要 (目的)	区民・来庁者が利用しやすく満足度の高い窓口サービスを提供するために、丁寧で的確な窓口案内、職員の人材育成、区庁舎の環境整備に取り組めます。
---------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<p>1 戸塚区総合庁舎は、区役所機能だけでなく、区民文化センターや行政サービスコーナー、ジョブスポット等、様々な機能を持った総合庁舎であり、地下3階から9階までの各階に様々な部署や機能が複雑に盛り込まれています。そのため、来庁者がスムーズに目的の場所にたどり着けるよう、引き続き充実した庁舎案内を行う必要があります。</p> <p>2 区民ニーズを的確に捉え、きめ細やかな行政サービスを提供するため、継続的に職員の業務知識向上及びサービス向上を図っていく必要があります。</p> <p>3 人権啓発は行政の重要な責務であり、職員一人ひとりの人権感覚・人権意識の向上を図り、人権尊重を基本とする市政運営を担う人材を育成するとともに、市民の人権意識の高揚に努める必要があります。</p> <p>4 大規模マンションの開発や他都市からの人口流入が増加を続ける中で、区民の地元意識や連帯感が希薄化し、住民同士のつながりや公共への関心が失われつつあります。区民主体の地域運営や心豊かな地域活動の礎として、あらゆる区民が郷土愛や連帯意識を共有できるよう、希望と誇りに満ちた顕著な業績を顕彰し、広く周知していく必要があります。</p> <p>5 戸塚区総合庁舎は、平成30年2月に設置された2階と3階をつなぐエスカレーターによる来庁者の動線が変化し、また平成25年3月に新規開設されてから7年が経過していることからサイン・備品類の老朽化が進んでいます。</p> <p>6 予算編成時に把握できない区民ニーズや突発的な緊急課題へ迅速に対応する必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    5 区民アンケート    6 区民要望    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた組織運営 ～区民に信頼され親しまれる区役所づくり～
3 根拠法令・要綱等	横浜市の職員研修規程、横浜市人権施策基本指針、横浜市職員人権啓発研修推進要綱
【実績の推移・今後見込み】	
○庁舎案内件数（戸塚区総合庁舎2階）	
(単位：件)	
	28年度実績    29年度実績    30年度実績    元年度実績
件数	74,418    93,684    56,322    53,996
○窓口サービス満足度調査結果	
	職員のあいさつ    職員の身だしなみ    職員の言葉づか    職員の聞く態度    職員の説明    待ち時間の長さ    待合場所の快適さ
29年度	98.7%    99.0%    99.7%    98.7%    96.7%    91.7%    98.0%
30年度	97.3%    99.0%    97.7%    97.3%    98.0%    95.3%    98.0%
令和元年度	99.7%    99.7%    99.3%    99.3%    99.3%    98.0%    100.0%
※数字はアンケート回答内の「満足」「やや満足」を合計した値	

【実施内容】

○庁舎等案内事業

区民文化センターや交通広場、民間店舗などが併設された総合庁舎及び駅周辺における複雑な案内業務に対応するため、引き続き庁舎案内業務の一部を人材派遣会社に委託します。  
また、戸塚区転入者への情報提供として、ウェルカムキット（転入者セット）を配布するため、チラシ等の封入作業を委託します。

○職員研修

- ・人材育成研修：職員のサービスレベルや業務遂行能力などのスキルアップための研修を実施（通年）
- ・業務知識向上研修：専門職職員の業務知識向上研修を実施（通年）

○人権啓発推進事業

- ・人権啓発講演会：市民を対象とした講演会を実施（2月予定）
- ・責任職等人権研修：責任職を対象とした人権研修及び職員を対象とした人権研修を実施（6月～1月予定）

○区民栄誉賞事業

- ・受賞者の選考について意見を求めるため、戸塚区区民栄誉賞検討会を実施します。
- ・戸塚区賀詞交換会において、受賞者の表彰式を行います。

○区庁舎環境改善・機能強化

庁内案内表示、窓口周辺備品の更新、レイアウト変更、Wi-Fiなどの環境整備・機能強化

○緊急的課題等への対応

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
庁舎等案内事業	3,350	2,600	750	庁舎案内業務の拡充による増
職員研修	170	280	△ 110	実績に合わせた減
人権啓発推進事業	324	412	△ 88	実績に合わせた減
区民栄誉賞事業	135	0	135	他事業から移行
区庁舎環境改善・機能強化	1,006	750	256	ICT環境整備による増
緊急的課題等への対応	500	500	0	前年同額
事業費合計	5,485	4,542	943	

【根拠とするデータ等】

窓口サービス満足度調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	飯田 晃	馬上 征人	高橋 ちあき

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

No.	2
-----	---

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	令和3年度
------	--------	---------	----------------	--------	-------

事業名
誰もが安全・安心に利用できる区民利用施設環境整備事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
10	4
20	4
38	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,150					2,150
前年度	0					0
増△減	2,150	0	0	0	0	2,150

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費				予	事業費	4,000	4,000
算	メリット+一般財源				算	一般財源	4,000	4,000
決	事業費				方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源				有:件名( ),日付( 年 月 )			
(無)								

事業の概要(目的)	誰もが利用しやすく、快適で満足度の高い施設運営を提供するために、区民利用施設の環境整備に取り組みます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

区民利用施設は様々な目的を持った、幅広い年齢層の方が利用します。特に、高齢者や障がい者等への施設利用の利便性と安全性の向上を図るため、戸塚区バリアフリー基本構想に基づき、区民利用施設のバリアフリー化を進める必要があります。

また、CO2削減や電気料金の削減といった導入効果も得られるため、公共施設のLED照明導入を促進していきます。特に、特定水銀使用の照明(水銀灯)は製造・輸出入の規制が予定されており、今後入手が困難になるため、計画的かつ早期にLED等の高効率照明に転換する必要があります。

その他、予算編成時に把握できない突発的な緊急課題へ迅速に対応し、新型コロナウイルス感染症を始めとする感染症対策も含めて、誰もが安全・安心に利用できる区民利用施設を運営していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」、「安全・安心を実感できるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	戸塚区バリアフリー基本構想、横浜市地球温暖化対策実行計画、横浜市公共施設管理基本方針

【実績の推移・今後見込み】

戸塚区内区民利用施設(地域振興課所管)のLED化率 約25%(水銀灯残数 80灯)

【実施内容】

《区民利用施設環境改善・機能強化》  
戸塚区バリアフリー基本構想に基づき、戸塚地区センター出入口前のスロープに滑り止め工事を実施します。また、舞岡地区センター内にエレベータ及び2階に多目的トイレがあることを示す案内を作成し、掲示します。  
製造・輸出入の規制が予定されている水銀灯をLED等の高効率照明に転換します。なお、その他蛍光灯についても、積極的にLED化を推進します。

《緊急的課題等への対応》  
台風被害や事故対応等、突発的な緊急課題に迅速に対応します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民利用施設環境改善・機能強化	1,550	0	1,550	新規事業
緊急的課題等への対応	600	0	600	新規事業
事業費合計	2,150	0	2,150	

【根拠とするデータ等】

戸塚区バリアフリー基本構想、本市施設における照明設備の設置状況調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	情野 純平	田中 芳晴

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	区民に身近な広聴・効果的で分かりやすい広報事業
-----	-------------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 <input checked="" type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,561		400			2,161
前年度	1,660		405			1,255
増△減	901	0	△5	0	0	906

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算	1,152	2,672	1,589	事業費	1,660	1,660
決算	680	2,200	1,117	一般財源	1,260	1,260
予算	1,110	2,226	1,834	方針に関する決裁 種別( )		
決算	658	1,881	1,500	有:件名( ), 日付( 年 月 ) 無		

事業の概要 (目的)	区民の皆様からいただいたご意見、ご要望に対する調整・回答・分析を行う広聴事業や区政モニター等の活用により、施策等に対する区民の皆様意向を把握し、政策形成の参考とします。 区民目線を大切にするとともに、職員の広報マインドを高めながら、より分かりやすく区政情報を発信していきます。また、様々な広報資源を活用して効果的で分かりやすい広報事業を推進します。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	・日頃区役所との関わりが少ない若年層の意識や区政へのご意見を積極的に収集し、区の施策の参考とする必要があります。 ・地域ニーズや課題の多様化に伴い、行政の施策もきめ細かく多様なものとなっていますが、これらの行政情報を確実に伝えることが、区民一人ひとりが抱える課題解決に不可欠です。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望	8 その他
-------------	------------	-----------	--------	-------

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた組織運営 ～区民に信頼され親しまれる区役所づくり～
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	「市民の声」事業の実施に関する取扱要綱、区における総合行政の推進に関する規則
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

○戸塚区ホームページトップページアクセス件数 (単位:件)

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
件数	223,020	214,221	192,584	298,574

【実施内容】

《広聴事業》  
 区民の皆様からいただいたご意見、ご要望に対する調整・回答・分析を行います。  
 また、横浜市インターンシップ事業において、戸塚区の職場で受け入れた学生を区政モニターとして登録し、アンケート・座談会への参加や区内イベントのボランティア等の協力を通じて、継続してつながりを持ち、区の施策に学生の視点を取り入れます。

《様々なメディア・ツールを用いた情報提供》  
 区役所ホームページやSNS、コミュニティFM、デジタルサイネージ等、様々なメディアを複合的に活用し、区内の情報をすべての年代にきめ細かく発信します。  
 また、戸塚の魅力発信を目的としてSNSで投稿した写真は、区ウェブページにおいて、デジタルアーカイブとして区民等と共有します。  
 さらに区民の皆様が、生活動線の中で行政情報を容易に取得できるよう、商業施設と連携する等、より効果的に情報を発信し、広報活動の更なる充実を目指します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広聴事業	303	328	△25	実績による減
様々なメディア・ツールを用いた情報提供	2,258	1,332	926	リーフレットの配送等による増
事業費合計	2,561	1,660	901	

【根拠とするデータ等】

広聴受付件数、戸塚区ホームページ・SNS閲覧数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	武 規和	上田 薫子	赤松 幸洋

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 戸塚 区 区政推進 課 ]

No.	4
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成23年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	歴史を活かしたまちづくり事業 【前年度：「旧東海道魅力アップ 推進事業」】
-----	---

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	7

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,463					1,463
前年度	1,064					1,064
増△減	399	0	0	0	0	399

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	672	174	1,122	予算	事業費	1,122	1,122
	メリット+一般財源	672	174	1,112		一般財源	1,122	1,122
決算	事業費	639	156	1,185	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	639	156	1,185	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 ) 無			

事業の概要 (目的)	旧東海道の宿場町に代表される戸塚区ならではの地域主体の「まち育て」の方策を探るとともに、歴史を生かしたより魅力あるまちづくりを区民の方々と協働で進めます。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	東海道五十三次・戸塚宿として400年以上の歴史を持つ戸塚区は、戸塚駅周辺の再開発事業により戸塚のまちの東西が繋がり、大きくまちの姿が変わりました。このことを契機とするとともに、今後も旧東海道戸塚宿という歴史資源を活用し、まちづくりの主体である地域の盛り上がりをもたせる必要があります。 また、近年、旧東海道をウォーキングする方が増え、市内外から多くの方が戸塚区を訪れており、マップや、旧東海道沿道の情報を得られる場所の整備が望まれています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    5 区民アンケート    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

19年度：「戸塚駅周辺地区における旧東海道みちづくり検討委員会」を開催し、駅周辺地区におけるみちづくり計画を策定

20～21年度：旧東海道の散策マップを作成・配布するとともに、道案内・歴史案内サインを設置

23～24年度：旧東海道を生かした取組を地域主体で検討する場としてワークショップ等を開催

25年度：前2か年度に実施したワークショップの成果を生かした区民の方々との協働による、旧東海道の魅力発信

26年度：区民団体や区民の方々との協働により、お休み処の運営やパネル展・イベントを実施

27年度：旧東海道の道が分かりにくい場所に案内板設置、区民と協働でとつか宿場まつりを初開催  
【来場者数約1,300人】

28～元年度：旧東海道パネル展、区民団体主催のとつか宿場まつりを後援

元年度：道案内・歴史案内サインを設置

2年度：道案内・歴史案内サインを設置、散策マップの更新・印刷

・今後の予定

区民団体主催のとつか宿場まつりを後援することにより、地域の歴史的資源を生かした市民交流の促進と、区民の方々が地域の歴史や魅力を再認識し、愛着が持てるまちづくりを推進します。

【実施内容】

歴史を活かしたまちづくり事業

(1) 戸塚区全体の歴史的資源の掘り起こし調査・とりまとめ  
従来取り組んできた旧東海道の取組をふまえた今後の戸塚区全体の歴史の普及・啓発のための基本的な考え方の策定を目指し、戸塚区内の歴史的資源の掘り起こし調査及びとりまとめを行います。

(2) 区民主体の旧東海道魅力発信イベントへの協力  
より多くの方々に戸塚の魅力を知ってもらい、愛着を持ってもらえるように、区民団体や区民の方々が実施する旧東海道戸塚宿の魅力を発信するとつか宿場まつりに協力をするとともに、併せて旧東海道パネル展を開催し、旧東海道のPRを行います。

(3) 戸塚図書館との連携による歴史紹介  
戸塚図書館の所蔵する旧東海道に関連する資料や、郷土史等について、普及啓発のため機会を捉えて区役所内等に紹介する場を設けます。また、戸塚図書館の所蔵資料について、区内公共施設に紹介スペースを設け、周知を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
旧東海道の歴史と魅力を伝える案内サイン整備事業	0	845	△ 845	事業終了による減
歴史を活かしたまちづくり事業	1,463	219	1,244	事業見直しによる増
事業費合計	1,463	1,064	399	

【根拠とするデータ等】

戸塚区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	武 規和	奥住 邦昭	鳥羽野 友里

( 戸 塚 区 - 4 )

[ 戸塚 区 区政推進 課 ]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成26年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	とつかブランド向上事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	1	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	461					461
前年度	605					605
増△減	△ 144	0	0	0	0	△ 144

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	事業費 650	720	685	予 算	事業費 400	400
	メリット+一般財源 650	720	685		一般財源 400	400
決 算	事業費 621	655	679			
	メリット+一般財源 621	655	679			

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	戸塚の魅力の1つである“おいしいもの”を「おいしいもの とつかブランド」として認定し、区内を巡ったり、戸塚区に訪れていただくなどの機会を生み出し、地域の活性化と戸塚のブランド力向上を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	26年度に区制75周年関連事業として「おいしいもの とつかブランド」を認定し、4年が経過した30年度に追加募集などリニューアルを行いました。追加認定品を含め、効果的なPRの促進が課題です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等    5 区民アンケート    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

《各年度の主な取組》

平成27年度 PR冊子を作成(発行部数10,000部)

28年度 ホームページを作成(インターンシップで受け入れた学生などの協力を得て作成)

29年度 スタンプラリーを開催

30年度 認定品の追加認定(追加にあたっては、区内大学の学生お薦め枠を新設)

令和元年度 追加認定品を含むPR冊子の印刷・配布及び区庁舎デジタルサイネージの更新

2年度 PR冊子の改訂・増刷・配布及び区庁舎デジタルサイネージの更新

【実施内容】

様々な機会を活用して「おいしいもの とつかブランド」のPRを行います。

- ・PR冊子の発行
- ・区民まつり等への「おいしいもの とつかブランド」ブース出展
- ・PR物品の作成、配布

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「おいしいもの とつかブランド」の魅力向上	461	605	△ 144	PR冊子改訂委託の減
事業費合計	461	605	△ 144	

【根拠とするデータ等】

平成29年度 戸塚区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 武 規和	係長 桐山 雅子	企画調整係 齊木 江水
--------------------	------------	-------------	----------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成21年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 とつか環境未来エコライフ事業	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価 書番号	該当なし
	中期計画-38の政策 ○	政策番号   主な施策番号 12   1,3	事業評価 書番号	
	重点事業			
	新規・拡充			
	温暖化対策関連事業	○		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,078					1,078
前年度	1,323					1,323
増△減	△ 245	0	0	0	0	△ 245

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	2,000	1,600	1,200	予	事業費	1,323	1,323
算	メリット+一般財源	2,000	1,600	1,200	算	一般財源	1,323	1,323
決	事業費	1,761	1,290	1,228	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	1,761	1,290	1,228	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			
(無)								

事業の概要 (目的)	区民の皆様一人ひとりが脱温暖化行動に取り組む雰囲気醸成し、脱温暖化行動を生活に定着させるとともに、環境事業においてSDGsの視点を踏まえた幅広い関係者との連携による取組を進めます。
---------------	--

(説明)	
1 地域の課題等	脱温暖化に向けた取組をこれまで以上に進めていくには、エコ活動に熱心な地域の団体や人材等と協働しながら、環境に関する先進的な取組をより一層推進していく必要があります。 また、横浜市は平成30年6月に「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの達成に向けて区も役割を果たすことが期待されています。
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート 6 区民要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市環境未来都市推進計画、横浜市地球温暖化対策実行計画、横浜市SDGs未来都市計画

【実績の推移・今後見込み】

エコイベント実施時のアンケートにおいて、脱温暖化行動の重要性への認識がされるとともに、行動のきっかけづくりができています。

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	(単位：人)
とつかエコフェスタ参加者数	1002	1763	1756	2276	2332	2273	1629	

【実施内容】

《エコ普及・啓発事業》

とつかエココーディネーター協議会等と協働で、環境問題講演会や環境パネル展を実施します。

《SDGsの推進》

企業や大学等が取り組んでいるSDGsに関わる出張講座や研究所見学等を学校の教員向けに紹介する冊子の配付や展示イベントを実施し、地域におけるSDGsの取組を推進します。

また、SDGs未来都市である北海道下川町と23年度に締結した友好交流協定に基づき交流を深めるとともに、SDGsの区民の理解促進につなげる取組にも生かしていきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
エコ普及・啓発事業	481	756	△ 275	啓発方法の変更による減
SDGsの推進	597	567	30	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,078	1,323	△ 245	

【根拠とするデータ等】

平成30年度環境に関する市民意識調査（環境創造局実施）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係 係
	武 規和	桐山 雅子	弘光 生磨

[ 戸塚 区 区政推進 課 ]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名
戸塚駅周辺サイン改修・設置事業 【前年度：「戸塚駅バリアフリーサイン検討事業」】

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	200					200
前年度	4,000					4,000
増△減	△ 3,800	0	0	0	0	△ 3,800

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費				予算	事業費	1,000	
	メリット+一般財源					一般財源	1,000	
決算	事業費				方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源				有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	バリアフリー基本構想に基づき策定した戸塚駅周辺サイン改修・設置計画に則り、区政推進課が所管するサインの改修・設置を行います。
-----------	--

(説明)																					
1 地域の課題等	<p>戸塚区は、平成20年度に策定した「戸塚駅周辺地区バリアフリー基本構想」について見直しを図り、「戸塚区バリアフリー基本構想(以下「基本構想」という)」を平成30年度に策定しました。この基本構想に基づき、施設設置管理者は具体的な事業計画を作成し、基本構想策定後5年以内を原則として、事業を実施することとなっています。ついで、基本構想に基づき策定した戸塚駅周辺サイン改修・設置計画に則り、区政推進課が所管するサインの改修・設置を行います。</p> <p>地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口応対等 6 区民要望 7 関係団体からの要望</p>																				
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」																				
3 根拠法令・要綱等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、横浜市福祉のまちづくり条例、戸塚区バリアフリー基本構想																				
【実績の推移・今後見込み】 《各年度の主な取組》 令和2年度 基本構想に基づき、戸塚駅周辺サインのバリアフリー化の検討及び、各サインの管理者等との事前調整・協議を実施。 令和3年度 前年度実施した検討・協議結果に基づき策定した戸塚駅周辺サイン改修・設置計画に則り、区政推進課が所管するサインの改修・設置を行います。 令和4年度 基本構想に基づき、東戸塚図書サービスコーナー(東戸塚駅周辺地区)の視覚障害者誘導用ブロックの設置検討を行います。																					
【実施内容】 ・バリアフリー基本構想に基づき策定した戸塚駅周辺サイン改修・設置計画に則り、区政推進課が所管する案内サインの改修・設置を行います。 ・バリアフリー基本構想に基づき策定した戸塚駅周辺サイン改修・設置計画に則り、区政推進課が所管するエレベーターの表示等サインの改修・設置を行います。																					
【事業費の内訳】																					
<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>戸塚駅周辺サイン改修・設置事業</td> <td>200</td> <td>4,000</td> <td>△ 3,800</td> <td>継続事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>200</td> <td>4,000</td> <td>△ 3,800</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	戸塚駅周辺サイン改修・設置事業	200	4,000	△ 3,800	継続事業						事業費合計	200	4,000	△ 3,800		
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																	
戸塚駅周辺サイン改修・設置事業	200	4,000	△ 3,800	継続事業																	
事業費合計	200	4,000	△ 3,800																		
【根拠とするデータ等】 戸塚区バリアフリー基本構想																					

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	武 規和	奥住 邦昭	宮原 真人

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

No.	8
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成24年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 とつかものづくり支援事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	1 4	事業評価 書番号	該当なし
	重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業					事業評価 書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,525					2,525
前年度	3,326					3,326
増△減	△ 801	0	0	0	0	△ 801

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,563	1,855	1,945	予	事業費	2,525	2,525
算	メリット+一般財源	1,563	1,855	1,945	算	一般財源	2,525	2,525
決	事業費	2,004	2,000	1,613	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	2,004	2,000	1,613	有:件名( )、日付(年月)			
無								

事業の概要 (目的)	高度なものづくり技術や独創的な製品を持ち、真摯かつ熱心な事業活動を行う中小ものづくり事業者の紹介をとおして、販路拡大や雇用維持等の中小ものづくり事業の振興を図ります。
---------------	---

(説 明)	
1 地域の課題等	戸塚区の中小ものづくり事業者は、地域の活性化に貢献するとともに、横浜市の税収に貢献しています。しかし、近年は新型コロナウイルスによる影響などから厳しい経営状況に置かれており、中小企業事業者の技術力のPRなどを通じて支援していく必要があります。
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	横浜市中企業振興基本条例
【実績の推移・今後見込み】	
自慢展出展者数/ 来場者数(社/人)	26年度実績 11/1200 27年度実績 12/1300 28年度実績 13/1700 29年度実績 13/1800 30年度実績 16/2000 元年度実績 12/- (中止) 2年度見込 9/- (見込)
【実施内容】	
《区内中小製造企業紹介事業》 区内企業紹介冊子を作成し、戸塚区内の高い技術力を持った各企業の紹介を通して、企業支援やPRを進めます。	
《戸塚ものづくり自慢展事業》 ものづくり企業の技術や製品の魅力を発信する「戸塚ものづくり自慢展」をオンラインで開催します。 区内中小ものづくり事業者の高度な技術を動画で紹介するとともに、自宅でできる子ども向け工作体験教室を実施します。	
【事業費の内訳】	
細目事業名	本年度 前年度 差引 説明
区内中小製造企業紹介事業	1,330 1,350 △ 20 デザイン単価見込み減
戸塚ものづくり自慢展事業	1,195 1,976 △ 781 一部オンライン化実施による減
事業費合計	2,525 3,326 △ 801
【根拠とするデータ等】 工業統計調査	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	中村 航	大橋 菜々子

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成25年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	活気あるとつか商店街支援事業
-----	----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,339					1,339
前年度	550					550
増△減	789	0	0	0	0	789

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,510	600	550	予算	事業費	1,439	1,439
	メリット+一般財源	1,510	600	550		一般財源	1,439	1,439
決算	事業費	2,314	421	473	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	2,314	421	473	有:件名( )、日付( 年 月 )			

無

事業の概要(目的)	区内の商店会と協力して活気ある商店街づくりを推進します。
-----------	------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	戸塚区には現在11の商店会があり、経済活動の場だけではなくイベントの主催、商店街灯の維持管理など、地域コミュニティの核としての役割を果たしています。近年、新たな商店会が複数結成され、まちに賑わいを創出する機運が高まっていますが、新型コロナウイルスの影響により、飲食店をはじめとした個店経営が深刻な打撃を受けるなど、商店会活動の衰退が懸念されています。このような中、商店会にかつての賑わいを取り戻していくためには、経済局の様々な支援策の活用を推進するとともに、区独自の取組で活気ある商店街づくりを支援していく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	横浜市中心小企業振興基本条例、横浜市商店街の活性化に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

(単位：商店会、店舗)

区商連加盟店舗数		26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年
		11	13	12	12	12	11	11
	加盟店舗数	290	416	416	416	465	472	490

※4月現在

【実施内容】

《商店街活性化事業》  
商店街の活性化を目的として、スタンプラリーを実施します。  
《個人商店魅力アップ事業》  
個人商店向けにセミナーを開催して、人材育成や販売促進をサポートします。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
商店街活性化事業	1,189	300	889	新規事業実施による増
個人商店魅力アップ事業	150	250	△100	実績による減
事業費合計	1,339	550	789	

【根拠とするデータ等】

商業統計調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 中村 航	地域活動係 稲葉 拓哉
--------------------	-------------	------------	----------------

[ 戸塚 区 土木事務所 課 ]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成30年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 とつか花できれいなまちづくり事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号   主な施策番号 9   1	事業評価 書番号 事業評価 書番号
	○		該当なし

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,899					1,899
前年度	1,859					1,859
増△減	40	0	0	0	0	40

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費		1,070	4,581	予	事業費	1,899	1,899
算	メリット+一般財源		1,070	4,581	算	一般財源	1,899	1,899
決	事業費		1,413	4,315	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源		1,413	4,315	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	戸塚区内の鉄道駅とその周辺の道路、河川、公園等において、花植え等の活動を行うことで、まちの美化を図るとともに、それらの活動を通じ地域の生活環境を大切にする風土と地域の絆を醸成する。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	「花できれいなまちづくり」の進め方については、地域や団体ごとに様々な考え方があります。本事業開始前から、このような活動を行っている地域や団体もあるため、その考えを尊重し、活動に合った支援の在り方を検討していく必要があります。
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	花できれいなまちづくり事業要綱

【実績の推移・今後見込み】

花さかクラブ 数	30年度	元年度	2年度	3年度
	2か所	3か所	4か所 (見込み)	4か所 (見込み)

【実施内容】

自治会・町内会やハマロードサポーター、水辺愛護会、公園愛護会、福祉団体、企業、商店会などで、地域の実情にあった組み合わせで構成する組織をつくり、定期的な花植えや植栽の維持管理を行い、周辺の歩行者や地域住民を季節の花で迎えます。

【戸塚駅】 30年度に「戸塚駅花さかクラブ」を設立。戸塚駅周辺における花植え等の活動支援（花苗の提供など）。

【東戸塚駅】 30年度に「花さかクラブ」を設立。地域の団体の花植え等の活動支援（花苗の提供など）。

【舞岡駅】 元年度に『ふるさと舞岡「花さかクラブ」えきまえ』を設立。舞岡駅周辺における花植え等の活動支援（花苗の提供など）。2年度に『ふるさと舞岡「花さかクラブ」まいしょう』を設立。舞岡小学校周辺における花植え等の活動支援（花苗の提供など）。

【踊場駅】 2年度中に「花さかクラブ」設立し、地域団体が継続して活動できる環境整備や花植え等の支援を実施。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
	1,899	1,859	40	
事業費合計	1,899	1,859	40	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理係
	天野 実	山口 祐子	山下 武

[ 戸塚 区 区政推進 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	とつか地域づくり支援事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	33	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,274					1,274
前年度	1,150					1,150
増△減	124	0	0	0	0	124

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,050	500	1,050	予算	事業費	1,774	1,774
	メリット+一般財源	1,050	500	1,050		一般財源	1,774	1,774
決算	事業費	500	574	932	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	500	574	932	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的)	地域のつながりや担い手確保となる「地域の居場所」を支援します。
-----------	---------------------------------

(説明)				
1 地域の課題等	<p>・高齢化の進行に伴い様々な地域課題が発生していますが、「地域の方が気軽に集まり、情報交換できる場」のニーズは各地域にあり、「顔の見える関係」づくりが求められています。</p>			
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度    4 地区懇談会    8 その他			
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「人と人がつながるまちづくり」			
3 根拠法令・要綱等	戸塚区地域の居場所づくり補助金交付要綱			
【実績の推移・今後見込み】				
<p>・地域の居場所づくり支援の取組は、地域で区民が主体となり、住民等が交流し、助け合いながらより良いまちづくりを行っていくことを目的とした居場所の運営を支援する事業であり、その実績は、平成23年度から令和元年度までの間に延13か所を支援しています。令和3年度は4か所の居場所を支援していきます。</p>				
【実施内容】				
<p>・地域の人が気軽に集まる場を作ることにより、様々な地域課題解決の基盤となる「顔の見える関係」づくりを進めます。</p> <p>・地理情報システムを活用し、地域と向き合う体制づくりを進めます。</p>				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「地域の居場所」運営の支援	1,070	1,070	0	
地域と向き合う体制づくり	204	80	124	研修の参加による増
事業費合計	1,274	1,150	124	
【根拠とするデータ等】				
令和元年度 戸塚区民意調査				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 武 規和	係長 福山 郁敏	地域力推進担当 桜井 拓哉
--------------------	---------	----------	---------------

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名 美化推進事業	特記事項	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業 <input type="checkbox"/>	11	1, 3			
		12	1, 2, 3			

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,348					1,348
前年度	1,595					1,595
増△減	△ 247	0	0	0	0	△ 247

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度	令和5年度	
						事業費
メリットナード一般財源	724	1,320	1,375	1,663	1,663	
一般財源				1,663	1,663	
決算	事業費	872	1,331	1,350		
メリットナード一般財源	872	1,331	1,350			

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( ),日付(年月)  
(無)

**事業の概要(目的)**  
プラスチックごみや食品ロスの削減を目指し、商業施設や大学等へ啓発に出向くことでヨコハマ3R夢プランを推進します。また、区内小学校と協働で街の美化に取り組むとともに、3R夢活動に貢献した区民を表彰します。

(説明)

1 地域の課題等

ヨコハマ3R夢プランの取組を推進するため、地域の協力を得ながら、ごみの分別や3R行動の普及啓発を行っていく必要があります。今後は食品ロス削減とプラスチック対策が大きな課題となっています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係

令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方  
「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等

横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例  
戸塚区環境行動賞「ヨコハマ3R夢」推進功労者区長表彰要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 戸塚区環境行動賞	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度見込み
被表彰者/団体数	9名/12団体	12名/9団体	10名/6団体	7名/3団体	15名/15団体
2 「花の小道」事業	「花の小道」事業による街の美化を推進します。				
3 3R推進事業	(単位：トン)				
ごみと資源の総量	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度目標	3年度目標
	61,475	60,939	60,048	60,678	60,000

【実施内容】

《きれいな街づくり推進事業》  
美化・3R夢行動等に取り組む区民を表彰します。また、令和3年度のごみと資源の排出量削減の目標を設定するため、ヨコハマ3R夢戸塚区推進会議を開催します。  
《「花の小道」事業》  
小学校周辺の歩道に花を植える「花の小道」事業による街の美化を推進します。  
《3R夢推進事業》  
昨年度からの大きな課題である食品ロス削減とプラスチック対策について各種イベントで啓発を強化します。また、好評をいただいている生ごみ処理器のモニター事業を引き続き実施します。  
食品ロス削減の取組については、食ロス削減検討会による効果的PRを図るため見直しや具体策の検討を行い、その成果を研修会や広報で発表することで区民に周知します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
きれいな街づくり推進事業	66	61	5	前年度未執行分計上による増
「花の小道」事業	222	222	0	前年度同額
3R夢推進事業	1,060	1,312	△ 252	
ごみ減量推進事業	200	400	△ 200	啓発物品の在庫活用による減
生ごみ処理器モニター事業	610	710	△ 100	実績に基づく減
食ロス削減検討会事業	250	0	250	新規事業実施による増
3R夢クッキング事業	0	152	△ 152	事業見直しによる減
食品ロス講演会	0	50	△ 50	事業見直しによる減
事業費合計	1,348	1,595	△ 247	

【根拠とするデータ等】

横浜市ごみと資源の総量

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	澤田 亮仁	富田 忠	稲葉 拓哉

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名 戸塚区民まつり事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,010					4,010
前年度	3,907					3,907
増△減	103	0	0	0	0	103

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	3,250	3,221	3,754	予算 事業費	4,120	4,120
メリット+一般財源	3,250	3,221	3,754	一般財源	4,120	4,120
決算 事業費	3,207	3,438	3,503	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無		
決算 メリット+一般財源	3,207	3,438	3,503			

事業の概要 (目的)	区民の郷土愛を育て連帯意識の高揚を図り、ふれあいと活気があふれる地域交流を促進するため、戸塚区民まつりを実施します。 また、区民の憩いの場を確保するため、桜の開花時期に合わせ柏尾川周辺の環境整備を実施します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	戸塚区では土地開発が進み、他の地域からの転入者が増えています。 そのため区民の地元意識及び連帯意識は希薄化する傾向にあり、区民主体の地域づくり推進の逆風となっています。 この課題を解決するため、区民が地元に着意を持てるような、区民、地域の活動団体、福祉団体、企業、学校等の交流・連携の場が今後ますます必要とされます。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等 6 区民要望 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「人と人がつながるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	戸塚区民まつり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
戸塚区民まつり来場者数	27,000人	32,000人	34,000人	34,000人	35,000人
戸塚ふれあい文化祭参加団体数	59団体	58団体	57団体	60団体	51団体

【実施内容】  
《柏尾川周辺の環境整備》桜の季節のぼんぼり点灯委託  
《戸塚区民まつり事業》  
(1) 戸塚ふれあい区民まつり  
(2) 戸塚ふれあい文化祭

【事業費の内訳】	本年度	前年度	差引	説明
細目事業名				
柏尾川周辺の環境整備	210	357	△ 147	委託料単価減による減
戸塚区民まつり事業	3,800	3,550	250	会場設営費及び警備費増
事業費合計	4,010	3,907	103	

【根拠とするデータ等】  
データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	中村 航	松川 敏樹

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名 自治会町内会連絡調整事業	特記事項	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価 書番号	該当なし
	中期計画-行政運営				事業評価 書番号	
	中期計画-財政運営					
	重点事業					
	新規・拡充					
	温暖化対策関連事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,686	0	0			3,686
前年度	3,498	0	0			3,498
増△減	188	0	0	0	0	188

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,415	2,418	3,498	予算	事業費	3,686	3,686
	メリット+一般財源	2,415	2,418	3,498		一般財源	3,686	3,686
決算	事業費	2,208	2,840	2,254	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	2,208	2,840	2,254	有:件名( )、日付(年月)			
					無			

事業の概要 (目的)	市及び区から自治会町内会への依頼及び連絡などに係る調整を行うことにより、自治会町内会に対し、多くの情報を提供するとともに、地域の自主的な活動を支援します。
---------------	---

(説明)								
1 地域の課題等								
自治会町内会未加入世帯への加入促進対策、役員の高齢化など多くの課題を抱える自治会町内会にとって、行政からの依頼業務は負担として受け止められるケースが生じてきています。 自治会町内会は、横浜市の様々な施策を推進するための、大切な協働パートナーです。行政が自治会町内会に依頼する業務については内容を検討し、負担とならないよう配慮しつつ、地域の自主的な活動が促進されるよう、引き続き努めていく必要があります。								
地域の課題等の収集手段		1 日常の窓口対応等	2 陳情	3 地区担当制度				
2 運営方針等との関係		令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」						
3 根拠法令・要綱等								
【実績の推移・今後見込み】								
感謝会における表彰者の推移 (単位：人、円)								
	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
開催場所	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎
被表彰者数	16	19	17	23	28	17	19	20
【実施内容】								
《仕分け、配送委託業務》 行政から自治会町内会へ情報提供（資料の仕分け及び配送）を実施します。								
《自治会町内会長感謝会》 住民組織の代表として地域の発展や区政の推進に尽力されてきた永年在職者を表彰するとともに、自治会町内会長の日頃の活動に感謝の意を表し、感謝会を開催します。								
《加入促進》 自治会町内会未加入世帯に対する加入促進を実施します。								
【事業費の内訳】								
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明				
仕分け配送業務	2,370	2,363	7	自治会町内会数増見込				
自治会町内会長感謝会	1,266	1,085	181	実績に伴う増				
加入促進	50	50	0	前年度同額				
事業費合計	3,686	3,498	188					
【根拠とするデータ等】								
自治会町内会への加入状況、自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移								

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	中村 航	陣田 翼

[戸塚区 地域振興課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成21年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名 とつか魅力再発見事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	784					784
前年度	724					724
増△減	60	0	0	0	0	60

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	741	1,095	649	予算	事業費	784	784
	メリット+一般財源	286	770	649		一般財源	784	784
決算	事業費	709	1,045	705	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	462	771	705	左:件名( )、日付(年月)			

無

事業の概要 (目的)	区制70周年を記念して誕生した戸塚区マスコットキャラクター「ウナシー」を活用し、各種団体との協働により、斑点の色に込められた戸塚区の魅力を知ってもらい、自分たちの住む町への愛着の醸成を図ります。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

大規模な再開発等により、区内への転入者が増加している中で区民、とりわけ子育て世代やその子ども達の地域への愛着を醸成していく必要があります。  
また、地域に根ざした郷土愛の醸成のため、戸塚区の歴史の普及や自然保護等について活動している地域団体の活動を支援していく必要があります。

地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口対応等 6 区民要望 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係 令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策  
「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

(単位:人)					
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
なぞとき広場応募者数	310	258	265	302	0
なぞとき広場参加者数	88	170	0	163	0

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止  
※30年度は台風のため中止

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
ウナシー着ぐるみ貸出件数	75	80	71	62	70

※令和2年度は見込み

【実施内容】

《ウナシーなぞとき広場》  
「ウナシーなぞとき動画」鑑賞や戸塚区の自然を生かした体験を通して、小学生を対象にウナシーの斑点の色に込められた戸塚区の魅力を理解してもらいます。  
また、地域で歴史の普及活動、桜やミズキンバイの保全活動をする区民団体等との協働事業として実施し、活動団体の活動支援の一助とするとともに、参加者に自分たちの住む町への郷土愛の醸成を図ります。

《ウナシー普及事業》

戸塚区のマスコットキャラクター「ウナシー」を多くの区民に周知し、地元愛を深めることを目的として着ぐるみの貸出を行っています。また貸出に伴い、着ぐるみの衛生管理のためのクリーニングを実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ウナシーなぞとき広場		504	444	60 消耗品費購入による増
ウナシー普及事業		280	280	0 前年度同額
事業費合計	784	724	60	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	樺嶋 健行	鈴木 一朗

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業
-----	---------------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
34	1
35	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	12,510					12,510
前年度	10,443					10,443
増△減	2,067	0	0	0	0	2,067

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	6,965	7,058	11,810
決算 メリット+一般財源	6,965	7,058	11,810
予算 事業費	7,589	8,279	12,149
決算 メリット+一般財源	7,589	8,279	12,149

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	13,000	13,000
決算 一般財源	13,000	13,000

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	防災関係機関、地域住民と連携した訓練や防災・減災イベントなどの啓発活動により「災害に強いまちとつか」に向け地域における防災・減災力の強化を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災に対する意識の向上とともに、備蓄や実災害時の避難などの行動に移していただけるよう、啓発を行う必要があります。</li> <li>・共助の取組について、町の防災組織や地域防災拠点などの支援などを通じて、強化していく必要があります。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    3 地区担当制度    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「安全・安心を実感できるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	横浜市災害時における自動及び共助の推進に関する条例、戸塚区災害ボランティアネットワーク支援事業補助金交付要綱、横浜市震災対策条例

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
地域防災拠点訓練参加者数	7,467	8,351	7,067	7,308	7,500	7,500
とつか減災フェア参加者数	-	-	1,000	1,200	中止	600
マンション防災講座受講団体数	-	-	80	130	150	170

【実施内容】

《防災・減災啓発の実施》  
防災に関する広報印刷物等により、区民の災害対応に関する意識啓発を行います。

《関係機関との連携強化》  
住民、地元組織、企業、行政その他関係機関が一致協力して災害対策を実施するため、災害対策連絡会議や各種連携訓練による相互の連絡体制の確認や情報交換を行い、関係機関との連携強化を図ります。

《地域防災拠点等の対応力強化》  
地域防災拠点における訓練への支援や資機材の購入などにより、震災時における地域防災拠点の対応力強化を図ります。  
令和3年度は前年度に引き続き、希望する自治会町内会等の団体に対して防災の専門家（地域防災アドバイザー）を派遣するほか、マンション防災講座を開催し、地域の防災力を強化します。  
また、自治会町内会等に対して啓発物品を配布し、安否確認訓練の実施を通じて共助の推進を図ります。

《「とつか減災フェア」の開催》  
区庁舎において、防災・減災に関する様々な催しを行う「とつか減災フェア」を開催し、多くの区民の方々へ自助・共助の一層の推進を図ります。

《土砂・浸水災害等対策》  
土砂災害・浸水等対策として、対策用資機材を購入や整備をするともに、地域の方々への意識啓発を図ります。

《災害医療体制整備事業》  
大規模地震発生時に、区内医療機関と区役所が円滑に連携して対応することができるように、平時から災害医療連絡会議を開催し、情報共有を進め、連携強化を図ります。また、区内医療機関と各種訓練や研修を実施することで、実践的な対応力強化を図ります。その他、医療救護隊等の資器材を整備し、災害医療体制の強化を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
防災・減災啓発の実施	3,490	2,890	600	マップ需要数増による増
関係機関との連携強化	250	250	0	前年度同額
区本部体制の整備	2,600	2,476	124	区本部体制の強化による増
地域防災拠点等の対応力強化	2,490	2,170	320	啓発用物品の増による増
とつか減災フェアの開催	1,797	2,357	△ 560	事業規模の縮小による減
土砂・浸水災害等対策	680	300	380	対策強化による増
災害医療体制整備事業	1,203	0	1,203	新規事業による増
事業費合計	12,510	10,443	2,067	

【根拠とするデータ等】

地域防災拠点の訓練参加者数等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	飯田 晃	神山 徳彦	石島 直

( 戸塚 区 - 16 )

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名
防犯力強化事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	5

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,715					4,715
前年度	4,895					4,895
増△減	△ 180	0	0	0	0	△ 180

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,786	4,560	4,033	予算	事業費	4,715	4,715
	メリット+一般財源	4,786	4,560	4,033		一般財源	4,715	4,715
決算	事業費	4,980	3,407	3,793	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	4,980	3,407	3,793				

事業の概要(目的)	啓発活動の実施及び防犯情報を区民に提供することで、区民の防犯に対する意識の向上及び体感治安の改善を目指します。また、地域の防犯活動に対する支援を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	戸塚区における刑法犯罪認知件数について、令和元年は前年対比で増加しており、地域における防犯活動の支援を充実させる必要があります。また、平成30年に大幅に増加した特殊詐欺被害については、引き続き戸塚区内でも高い被害件数が続いている状況であり、実効性のある啓発活動を継続して実施していくことで、区民がそれぞれの実情に即した対策を行えるよう、防犯意識の向上を図ることが求められています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「安全・安心を実感できるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	犯罪のないまちづくり事業助成金交付要綱、地域防犯活動拠点設置要領

【実績の推移・今後見込み】

戸塚警察署管内での認知件数

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
刑法犯認知件数	1,327件	1,202件	1,142件	1,180件
特殊詐欺件数(被害額)	22件(85,640千円)	47件(98,000千円)	116件(249,400千円)	94件(164,000千円)

【実施内容】

《特殊詐欺撲滅啓発事業》

特殊詐欺撲滅啓発活動

街頭啓発や各種団体の協力を得て、高齢者を中心に特殊詐欺撲滅を呼びかける活動を行います。  
また、地域と連携し、簡易型自動通話録音機を活用した啓発活動を行うことで、特殊詐欺防止に向けた区民の防犯意識の向上を図ります。

《地域の防犯活動応援事業》

(1) 犯罪のないまちづくり事業

自治会館等の防犯拠点を中心として、パトロール・講習会等を実施する自主的な地域団体に対し、補助金を交付することで、地域における防犯活動の支援を行います。

(2) 地域防犯活動拠点支援

地域の防犯活動における拠点の設置を推進し、青色回転灯や看板プレートの提供及び活動の支援を行います。

《子ども安全推進事業》

(1) 防犯ブザー配付

安全教育のツール及び防犯対策機器として、区内新小学校1年生を対象に防犯ブザーの配付を行い、子どもの安全促進と、防犯意識の向上を推進します。

(2) 子ども110番の家応援

子ども110番の家プレートを配布し、PTAによる「子ども110番の家」の取組を支援します。

《戸塚区まちの安心・安全推進連絡協議会》

(1)防犯キャンペーン

防犯協会、協議会、警察署、区が連携して毎月10日に駅で防犯啓発を行います。

(2)わんわんパトロール

まちの防犯力を高めることを目的として、犬の散歩をしながら防犯パトロールに取り組む「わんわんパトロール隊」を普及させ、区民の防犯活動への参加を促進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
特殊詐欺撲滅啓発事業	1,500	1,500	0	
地域の防犯活動応援事業	2,060	2,080	△ 20	実績に基づく減
子どもの安全推進事業	1,035	1,185	△ 150	購入物品見直しによる減
戸塚区まちの安心・安全推進連絡協議会	120	130	△ 10	事業内容見直しによる減
事業費合計	4,715	4,895	△ 180	

【根拠とするデータ等】

神奈川県警察「犯罪統計」

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	情野 純平	鈴木 達郎

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	交通安全・放置自転車対策事業
-----	----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,815					5,815
前年度	6,035					6,035
増△減	△ 220	0	0	0	0	△ 220

予算	歳出	事業費	メリット+一般財源	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和4年度	令和5年度
				5,388	5,134	5,171		
決算	事業費	4,410	4,355	4,538				
決算	メリット+一般財源	4,410	4,355	4,538				

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	〈交通安全対策〉交通安全の普及活動や区内のスクールゾーンにおける事故防止対策を行います。 〈放置自転車対策〉早期及び夕方の駐輪指導、自転車適正利用の啓発活動を行います。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等

〈交通安全対策〉戸塚区では国道一号線等の主要道路が通っていることや細い道が多数あることから、交通事故の件数も市内上位となっています。通学路の安全確保と交通安全への意識を更に高める必要があります。  
 〈放置自転車対策〉依然として放置自転車が見られることから、引き続き駐輪指導、自転車適正利用の啓発活動が必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係 令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方  
「安全・安心を実感できるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 横浜市自転車等の放置防止に関する条例、戸塚区自転車等放置防止推進協議会活動補助金交付要綱、戸塚区スクールゾーン安全対策協議会助成金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

戸塚警察署管内交通事故発生件数 (単位：件)				
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績
発生件数	822	734	629	616

【実施内容】

《交通安全啓発活動》  
定期的な各種の交通安全啓発キャンペーンや子どもを対象とした交通安全教室を開催し、区民の交通安全意識及び交通マナーの向上を図ります。  
また、高齢者や保護者も同様に交通安全に対する意識向上を図ります。

《スクールゾーン対策》  
区内各小学校のスクールゾーン安全対策協議会に対し助成を行うとともに、電柱巻「文」マークの更新及びスクールゾーンの路面表示の設置、補修をします。  
また、登下校時の見守り活動に必要な物品を配布します。

《放置自転車対策事業》  
戸塚駅・東戸塚駅周辺の自転車等放置禁止区域にて警告札等を使用した注意喚起を実施します。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
交通安全啓発活動	820	820	0	前年度同額
スクールゾーン対策	4,616	4,736	△ 120	更新電柱数の減
放置自転車対策事業	379	479	△ 100	実績による減
事業費合計	5,815	6,035	△ 220	

【根拠とするデータ等】

警察署による交通事故発生件数等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	中村 航	大橋 菜々子

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成16年度
------	---------------	---------	------	--------	--------

事業名
区民活動支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,933					8,933
前年度	7,972					7,972
増△減	961	0	0	0	0	961

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	8,123	8,212	7,988	予算	事業費	8,000	8,000
	メリット+一般財源	8,123	8,212	7,988		一般財源	8,000	8,000
決算	事業費	7,885	7,639	7,241	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	7,885	7,639	7,241	有:件名( )、日付(年月)			
					無			

事業の概要(目的)	地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指します。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	地域でボランティア活動や学習活動を始めたいと思っている区民に対して、学習機会と情報を提供することが必要です。また、すでにそうした活動を始めている個人・グループに、活動場所や資金、企画力、広報等の運営上の課題解決に向けた支援をしていく必要があります。これらのニーズに対して地域の活動拠点である「とつか区民活動センター」と連携して、活動の質を高めるための学習機会や適切な情報の提供、財政的支援を行っていく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「人と人がつながるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	教育基本法、社会教育法、横浜市市民協働条例、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、第3次横浜市生涯学習基本構想、とつか区民活動センター事業実施要綱 及び とつか区民の夢プロジェクト補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

事業名	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
とつか区民の夢プロジェクト補助金事業		10団体	13団体	14団体	8団体	4団体
とつか区民活動センター運営事業 (センター利用者数)	27,474人	28,767人	30,365人	29,983人	29,167人	30,000人

【実施内容】

《とつか区民の夢プロジェクト補助金》  
区内で活動する団体が行う、地域の魅力づくり・課題解決に繋がる活動に対し、補助を行います。

《読書活動推進事業》  
関係課長、学校長代表による連絡会、区内読書活動拠点等による懇談会を開催します。戸塚図書館・学校等と連携して講座の実施や読書関連イベントを開催するほか、読書活動実践者を対象としたスキルアップ研修などを開催し、区民の読書活動の推進を図ります。

《とつか区民活動センター運営事業》  
市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動支援の拠点である「とつか区民活動センター」を委託団体と協働で運営します。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
とつか区民の夢プロジェクト補助金事業	1,550	1,957	△ 407	実績による減
読書活動推進事業	576	400	176	事業拡充による増
とつか区民活動センター運営事業	6,807	5,615	1,192	事業拡充による増
事業費合計	8,933	7,972	961	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	榊嶋 健行	山崎 修

[ 戸塚区 地域振興課 ]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成18年度
------	---------------	---------	---------	--------	--------

事業名	地域文化振興事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,500					1,500
前年度	1,300					1,300
増△減	200	0	0	0	0	200

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算	1,500	1,300	1,300
決 算	1,500	1,300	1,300
予 算	1,616	1,564	1,690
決 算	1,616	1,564	1,690

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	1,500	1,500
決 算	1,500	1,500

方針に関する決裁種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	区民に「文化芸術に触れる機会」を提供し、文化活動の関心を高めるとともに、区内の文化活動団体等への活動支援を行い、地域の文化振興を図ります。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

戸塚区民文化センターの開館により、文化活動を展開している区民団体の文化振興に向けた期待が膨らみ、更に活発化しようとしています。地域に展開する文化芸術事業を盛り上げ、区民の参画を促進し、地域の文化振興を図るため、区民が主体的に参加できる文化芸術活動を積極的に支援します。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策  
「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

戸塚っ子いきいきアートフェスティバル (単位:人)									
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込
入場者数(人)	2,314	3,620	4,171	4,244	3,955	4,052	4,047	3,892	4,000

【実施内容】

《戸塚っ子いきいきアートフェスティバル》  
区内の小、中、高、特別支援学校の様々な文化活動の発表を区内の青少年育成に関わる団体や地域のボランティアにより実施します。

《Dance Dance Dance@YOKOHAMA応援事業》  
Dance Dance Dance@YOKOHAMAの応援を目的として、イベントを身近に感じてもらうための参加型ダンスイベントを開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
戸塚っ子いきいきアートフェスティバル	1,000	1,000	0	前年度同額
Dance Dance Dance@YOKOHAMA応援事業	500	0	500	新規事業
トリエンナーレ応援事業	0	300	△ 300	事業終了
			0	
事業費合計	1,500	1,300	200	

【根拠とするデータ等】  
データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	樺嶋 健行	山崎 修

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成26年度
------	---------------	---------	---------	--------	--------

事業名	とつか音楽の街づくり事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,700					3,700
前年度	3,700					3,700
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	事業費 1,800	3,000	3,200	予 算	事業費 3,700	3,700
決 算	メリット+一般財源 1,800	3,000	3,200	決 算	一般財源 3,700	3,700
予 算	事業費 1,942	2,963	2,668	方針に関する決裁 種別( )		
決 算	メリット+一般財源 1,942	2,963	2,668	有:件名( )、日付(年月)		

事業の概要(目的)	区民の文化団体や演奏家へ発表の場を提供するとともに、幅広い年齢層の区民に音楽に親しんでもらう機会や場所を提供し、音楽の街とつかを広くアピールします。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	戸塚区は、市内初の区民オーケストラ、区民の実行委員によるゴスペルコンサート、戸塚に縁のある歌を唄うシンガーソングライターや商店街と連携した路上ライブなど音楽活動が区民に浸透しています。そこで、区内の文化団体や演奏家へ発表の場を提供するとともに、幅広い年齢層の区民に音楽に親しんでもらう機会や場所を提供し、音楽を中心に地域のつながりを深め、地域の活性化を図ります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	とつか音楽の街づくり事業とつかストリートライブ運営補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込
区民広間コンサート	開催回数	9回	12回	12回	12回	12回	11回	-
	参加者数	1080人	1500人	1600人	1800人	1800人	1650人	-
とつかストリートライブ	出演組数	17組	66組	138組	136組	171組	212組	-

【実施内容】

- 区民広間コンサート
 

区民広間において区民の文化団体を中心としたコンサートを実施します。出演団体の募集選定も含め、企画運営については、区民からなる運営委員会により実施します。
- とつかストリートライブ
 

区内で演奏の場を設け、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供します。出演者の募集、広報、その他企画等は補助金交付により実施します。戸塚駅周辺での定期ライブ開催に加えて、夏と春にフェスを開催します。
- 音楽交流ひろば
 

区民広間コンサートととつかストリートライブの出演者による音楽教室や体験コンサートなど、出演者と区民との交流の場、区民が気軽に音楽を楽しめる場を提供します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民広間コンサート	150	100	50	消耗品費の増
とつかストリートライブ	3,000	3,600	△ 600	補助金の減
音楽交流ひろば	550		550	新規事業
事業費合計	3,700	3,700	0	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	樺嶋 健行	山崎 修

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成7年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名
スポーツ・レクリエーション振興事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
7	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,997					1,997
前年度	2,682					2,682
増△減	△ 685	0	0	0	0	△ 685

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,710	2,060	2,652	予算	事業費	1,997	1,997
	メリット+一般財源	1,710	2,060	2,652		一般財源	1,997	1,997
決算	事業費	1,968	1,871	2,042	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,968	1,871	2,042	有:件名( )、日付( 年 月 )			

事業の概要(目的)	戸塚区体育協会事業などの区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興を推進します。
-----------	--

(説明)				
1 地域の課題等	<p>区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動を振興し、心身の健康やリフレッシュ、地域交流の活性化が求められています。また、区内に活動拠点のある女子スポーツ団体には、国内でもトップレベルの優秀な選手が在籍し、今後の活躍に多くの期待が集まっています。しかし、区民の認知度はいまだに低く、競技人口も少ないことから、広く活動を紹介し、親しみが持てるよう普及活動を支援します。</p>			
地域の課題等の収集手段	6 区民要望 7 関係団体からの要望			
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針「目標達成に向けた取組の考え方「人と人がつながるまちづくり」			
3 根拠法令・要綱等	スポーツ基本法、戸塚区体育協会補助金交付要綱			
【実績の推移・今後見込み】				
1 区民体育振興事業 戸塚区体育協会に加盟する各競技団体が主催する大会等に、毎年多くの区民が参加しており、区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動が推進されています。				
2 オリピック・パラリンピック機運醸成事業 東京2020オリピック・パラリンピックに向けて、戸塚区においても機運醸成を図るための事業を実施します。				
3 女子スポーツ普及・応援事業				
単位：人	H29 H30 R1 R2			
体験教室	61 70 99 0			
観戦ツアー	56 106 102 0			
【実施内容】				
1 区民体育振興事業 区体育協会への運営費を補助します。				
2 オリピック・パラリンピック機運醸成事業 オリピック・パラリンピックに縁のある人物による講演会を実施します。				
3 女子スポーツ普及・応援事業 ラグビー、サッカー、ソフトボールの小学生を対象とした体験教室を実施します。 YOKOHAMA TKM、ニッパツ横浜FCシーガルズ、日立ソフトボール部を紹介するパネル展を開催します。 スポーツにまつわる思い出の写真や動画を募集し、SNSを活用したフォトムービーコンテスト(仮称)を実施します。				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民体育振興事業	500	500	0	
オリピック・パラリンピック機運醸成事業	479	479	0	
女子スポーツ普及・応援事業	1,018	1,568	△ 550	事業見直しに伴う減
区民荣誉賞事業	0	135	△ 135	他事業へ移行
事業費合計	1,997	2,682	△ 685	
【根拠とするデータ等】				
データ活用には、なじまない事業です。				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 中村 航	地域活動係 田中 芳晴 古田 汀
--------------------	-------------	------------	------------------------

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成13年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名	青少年健全育成事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1
35	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本 年 度	1,565					1,565
前 年 度	1,610					1,610
増△減	△ 45	0	0	0	0	△ 45

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,620	1,849	1,849	予 算 事業費	1,665	1,665
メリット+一般財源	1,620	1,849	1,849	予 算 一般財源	1,665	1,665
決 算 事業費	1,600	1,536	1,632	方針に関する決裁 種別( )		
メリット+一般財源	1,600	1,536	1,632	有:件名( )、日付(年月)		
				無		

事業の概要(目的)	地域の特性を生かし、地域で青少年の健全育成を目的に活動をしている団体を支援することにより、青少年の健全な育成を推進します。
-----------	---

(説 明)

1 地域の課題等	<p>少子化、就労形態等の社会的な変化により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、地域で継続して青少年の育成に取り組むことが必要です。</p>
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」、「安全・安心を実感できるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	地域で育む青少年健全育成事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

地域で育む青少年健全育成事業補助金交付実績  
H24：6件、H25：6件、H27：6件、H28：5件、H29：7件、H30：9件、R1：9件

【実施内容】

《地域で育む青少年健全育成事業》  
地域性を生かし、青少年の健全育成を目的として自主的に活動している団体が実施する事業に補助金を交付します。

《青少年防災対応力強化事業》  
中学生・高校生を対象として、青少年の防災対応力の向上を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域で育む青少年健全育成事業	1,060	1,160	△ 100	実績による減
青少年防災対応力強化事業	505	450	55	感染症対策措置に伴う増
事業費合計	1,565	1,610	△ 45	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 情野 純平	地域活動係 古田 汀
--------------------	-------------	-------------	---------------

[ 戸塚 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	子育て応援事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,281					4,281
前年度	4,338					4,338
増△減	△ 57	0	0	0	0	△ 57

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	4,941	4,571	4,496	予算	事業費	4,608	
	メリット+一般財源	4,941	4,571	4,496		一般財源	4,608	
決算	事業費	4,461	4,439	4,467	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	4,461	4,439	4,467	有:件名( )、日付(年月)			

事業の概要(目的) 育児に不安を抱え孤立化する養育者が増える中、妊産婦から乳幼児とその養育者等の健康の保持増進、育児不安解消のために、地域子育て支援拠点「とつとの芽」と協働で子育て支援事業を実施します。

(説明) 1 地域の課題等 戸塚区の令和元年中の出生数は2,204人で市内3番目であり、令和元年1月1日現在の年少人口は13.1%で市内2位となっています。少子化や地域のつながりの希薄化が進む中での子育ては、養育者を孤立化させる可能性があり、子どもの健やかな成長を妨げかねません。身近な地域等での教室開催を通じた養育者の仲間づくり、地域で子育て支援に関わる方のスキルアップやネットワーク作り、子育てをする当事者同士が相互に援助しあう関係づくりを進め、育児不安の軽減を図り、安心して子育てできる環境をつくることが求められています。

地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口応対等

2 運営方針等との関係 令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、共創推進の指針

【実績の推移・今後見込み】

		(単位：組、人)					
		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績※1	2年度見込み※2	3年度目標
両親教室(平日/土曜)	参加者数(延べ)	937/540	1032/594	885/618	1027/150	800/75	960/300
	両親教室(計)	1,477	1,626	1,503	1,177	875	1,260
ひよこ会	参加者数(延べ)	6,097	5,469	5,786	4,705	2,000	5,500
育児支援講座	参加組数(延べ)	—	71	78	55	90	160

※1土曜両親教室の実績が減少した理由 土曜両親教室を区役所から地域子育て支援拠点実施に移行し、会場スペースにより各回定員が減少となったため

※2新型コロナウイルス感染症による休止と人数制限のため

【実施内容】

《健やか子育て応援事業》

- ・両親教室：妊娠期から健康づくりの意識を高め、安心して出産、子育てを迎えるための知識や技術の学習、地域の仲間づくり推進を目的に実施する両親教室で、妊娠期からの体力づくりと産後うつ予防、心身の健康維持とマインドフルネスの視点を活かしたマタニティエクササイズを行います。
- ・ひよこ会：乳児と養育者を対象に赤ちゃん教室事業を実施します。発達に合わせた関わり方などの講話やアドバイス、個別相談を行い、さらに養育者の仲間づくりを進めます。
- ・育児支援講座：自己主張の強くなる2歳～3歳児の養育者を対象に、子どもへの関わり方を学ぶ育児講座を開催します。より多くの区民に気軽に参加してもらえるよう、公立保育園と連携して区内エリア別の実施します。また、しつけに悩む養育者を対象に、「親と子のコミュニケーション講座」を行います。
- ・子ども・家庭支援相談：相談案内周知リーフレットを作成します。

〈とっとの芽協働事業〉

・お世話体験会(土曜日両親教室):夫婦で協力し子育てに取り組む意識を高めるため、妊婦・沐浴体験や先輩パパママとの交流を図り、当事者性を高めた講座を開催します。地域子育て支援拠点やと協働で実施し、地域ケアプラザや親子のつどいの広場と連携して実施することにより、産後の拠点等居場所利用を促し、孤立予防を図ります。

・子育て情報の発信:養育者のニーズに沿った効果的な情報提供を行うため、子育てアプリによる情報発信と、情報誌の発行を行います。

・とことこフェスタの開催:子育て支援に関わる団体のネットワークづくりと情報発信、子育て中の親子の交流と子育てを楽しむ環境づくりを推進するイベントです。開催にあたっては、関係機関の連携強化、養育者の力を引き出す取り組み、民間企業との共創も推進していきます。会場を分散し、スタンプラリーで各会場を回るスタイルで実施します。

・サークル支援:子育て支援者によるサークル支援などにより、サークルの活性化を図るとともに、サークル同士の交流会を実施して、情報交換・活動課題の共有を図ります。

・外遊び応援事業:公園愛護会と連携しながら、地域の子育て支援に関わる方が外遊びの楽しさを伝えます。外遊びを通して親子の関わりを深め、地域の交流や連携を図ります。また、横浜市立大学と連携し、地区別に外遊びが広がる仕組みづくりを検討します。

・とつか子育て連絡会:地区別子育て連絡会と全体会を充実させ、子育て支援における課題の共有と関係機関との連携強化を図り、区域の子育て支援のネットワークを強化していきます。

【事業費の内訳】

(単位:千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
健やか子育て応援事業	1,915	1,660	255	妊娠期支援事業(両親教室の内容拡充)の実施による増
とっとの芽協働事業	2,366	2,678	△ 312	メルマガ配信及び子育て応援ガイドブック改訂終了による減
事業費合計	4,281	4,338	△ 57	

【根拠とするデータ等】

母子保健業務集計(令和元年度母子健康手帳交付数、1歳6か月児健康診査受診状況、子ども・家庭支援相談事業実績等)、衛生研究所人口動態統計資料(性及び母の年齢階級別出生児数等)、統計情報ポータル(令和元年度人口動態)、戸塚区福祉保健センター事業概要(令和元年度版)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	上原 嘉明	三橋 静香	小田本 奈緒

( 戸塚 区 - 24 )

[ 戸塚 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
保育所地域子育てパワーアップ事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,668		48			2,620
前年度	2,696		60			2,636
増△減	△ 28	0	△ 12	0	0	△ 16

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,918	1,722	2,696	予算	事業費	2,668	2,668
	メリット+一般財源	1,858	1,662	2,636		一般財源	2,620	2,620
決算	事業費	1,764	1,707	2,263	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	1,713	1,662	2,222	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			

事業の概要(目的)	市立・民間保育所を対象に研修等を実施し、区域全体としてより高い質の保育を提供します。市立保育所の機能活用により地域家庭へ育児サービス等を提供する地域子育て支援を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関わる支援を必要とする世帯が増加する中、保育所が利用児童のみならず地域に開かれた施設として、子育ての支援機関としての機能を様々な形で発揮することが期待されています。</li> <li>地域での親子の孤立化、虐待の発生を予防し、安心して子育てができる環境づくりが必要です。</li> <li>近年の保育の質に対するニーズに対応できる専門性の高い保育を継続することが不可欠です。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	児童福祉法、子ども・子育て関連3法 横浜市民の読書活動の推進に関する条例 横浜教育ビジョン2030

【実績の推移・今後見込み】

(単位：人・件)

	29年度	30年度	元年度	2年度見込み	備考
施設開放参加延べ人数	5,544	4,967	3,054	5,000	
保育所文庫貸出件数	2,524	2,213	5,227	4,240	保育所文庫の全園設置は27年9月

【実施内容】

- 保育の質の向上事業
  - 区内全保育施設を対象とした研修の実施
    - 保育施設長研修の実施  
外部講師による分野別研修（人材育成・防災・臨床心理等）の実施
    - 保育士を対象とした体験型防災研修  
南海トラフ地震が今後30年以内に80%以上の確率で発生することに備え、保育現場の職員から防災研修開催の要望が多く上がっているため、保育士向けに実践的なスキルを身につける体験型の防災研修を専門家を招いて実施します。（令和2年度に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。）
    - 保育施設を対象とした虐待予防研修  
児童虐待が右肩上がりに増加する中、保育園のセーフティネット機能を生かした虐待予防についての研修を実施します。
  - 交流保育
    - エリア別交流保育の実施（東戸塚、戸塚東、戸塚西、大正）  
横浜教育ビジョン2030で位置づけられている幼児教育から小学校の円滑な接続として幼保小の連携が急務であり、エリア別の園同士の連携を強化しています。交流保育は園児同士の交流と施設間のネットワークづくりを目的に保育士の企画による事業として実施します。  
（内容）1エリア3回開催 計12回開催

2 保育所子育て支援事業

- ・地域向けに育児相談や施設開放、ランチ交流等を実施します。
- ・地域の子育てを支援する施設としての市立保育園機能の充実及び「横浜市民読書活動推進計画」における子どもの発達段階に応じた読書活動を推進するため、園内用・貸出用絵本の充実を図ります。
- ・戸塚区保育所等一覧冊子（保育所案内）、保育・教育施設案内チラシを作成・印刷します。
- ・業務円滑化のための区役所・市立保育園間の書類配送を委託により実施します。

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
保育の質向上事業	773	786	△ 13	新型コロナウイルス感染症対策のため方面別4エリアでの分散実施によるバス借上げの減
保育所子育て支援事業	1,895	1,910	△ 15	俣野保育園民間移管による減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,668	2,696	△ 28	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭支援担当
	金森 裕一	山本 真希	上野 将広

( 戸塚 区 - 25 )

[ 戸塚 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成18年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
子どもと家庭を支える虐待防止環境づくり事業【前年度：子どもを取り巻く虐待予防環境づくり事業】

特記事項
中期計画-38の政策 ○
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,819					2,819
前年度	2,251					2,251
増△減	568	0	0	0	0	568

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,699	1,794	2,112	予算	事業費	2,668	2,668
	メリット+一般財源	2,699	1,794	2,112		一般財源	2,620	2,620
決算	事業費	2,798	1,969	2,089	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	2,798	1,696	2,089	有:件名( )、日付(年月)			

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
(無)

事業の概要(目的)	戸塚区児童虐待防止連絡会(戸塚区子育てサポート連絡会)の構成委員となっている関係機関や地域と連携を強化するとともに、育児不安を抱える養育者への支援を行うなど、児童虐待予防啓発、早期発見及び対応に取り組めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

横浜市における令和元年度の児童虐待の対応件数は10,998件で過去最高であり、社会の関心も大変高まっています。戸塚区では、未就学児の対応が高い割合を占めつつも、学校からの通告・相談が年々増えている状況です。関係機関などの支援体制を強化し、地域の虐待に対する意識を高め、育児不安のある児童の養育者の負担を軽減するなど、子どもを虐待から守る環境づくりを進めることが必要です。また、子どもの権利擁護の観点から、養育者だけでなく、子ども自身が自分を大切にできるような相談支援や啓発の推進が求められます。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	児童の権利に関する条約、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、横浜市子供を虐待から守る条例、横浜市要保護児童対策地域協議会戸塚区実務者会議設置・運営要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

個別カウンセリング回数

(単位：回・人)

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
回数	24	24	36	36	36
利用者数	48	48	57	72	72

【実施内容】

1 子育てサポート連絡会関連事業

- ・「戸塚区子育てサポート連絡会」として、区の全体会を年2回、地区別連絡会(5地区)を開催するとともに、合わせて研修を実施します。
- ・広く区民に虐待防止の理解を広めるため、区民向けイベントや児童虐待防止推進月間における区民広間での啓発展示や横断幕掲示など、児童虐待防止活動の普及啓発に努めます。
- ・子ども自身が自分を大切にできるよう、知識を身につけ、SOSを発信できるよう、子ども向け啓発リーフレットを作成します。

2 養育者支援

- ・カウンセラーによる個別カウンセリングにより、育児不安のある養育者の負担軽減に時機を逃さず対応します。
- ・女性と子どものための専門の法律相談を実施し、相談者の心理的な負担を軽減します。
- ・虐待通告など緊急時の迅速な対応を図ります。

3 とつか秋葉塾送迎強化

- ・寄り添い型生活支援事業実施施設である「とつか秋葉塾」において、車両による送迎を実施します。
- ・通所時の安全確保と効率化を図ることにより、ネグレクト等養育環境に課題のある児童への支援を拡充します。

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子育てサポート連絡会関連事業	1,488	830	658	リーフレット作成の増
養育者支援	971	1,421	△ 450	備品購入の減
とつか秋葉塾送迎強化	360	0	360	新規
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,819	2,251	568	

【根拠とするデータ等】

- ・横浜市における児童虐待の対応状況

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	上原 嘉明	尾形 花菜子	

[ 戸塚 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成24年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	とつかの子育て応援ルーム 「とことこ」運営事業
-----	----------------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	23	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,558					8,558
前年度	9,133					9,133
増△減	△ 575	0	0	0	0	△ 575

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	5,492	6,402	8,558	予 算	9,633	
メリット+一般財源	5,492	6,402	8,558	一般財源	9,633	
決 算	5,509	6,197	8,528			
メリット+一般財源	5,509	6,197	8,528			

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
(無)

事業の概要(目的)	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」において、一時託児の実施と地域の子育て情報の提供等を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	戸塚区総合庁舎で転入出等の届出を行う際には、複数の課における手続きなどに多くの時間を要する場合があります。保護者の利便性向上とともに、来所した子どもの安全性の観点からも、一時託児の実施が求められています。また、庁舎は駅直結で利便性が高く、区内各エリアからの来庁者が見込まれることから、横浜市版子育て世代包括支援センターの入口として、利用者のニーズを的確に受け止め、妊娠期から子育ての情報提供などをはじめとした総合的な子育て支援を実施することが求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

利用者数実績・見込み

(単位：人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度見込み*	3年度目標
一時託児	1,565	1,542	1,677	1,614	1,908	2,655	1,400	2,800
情報コーナー	10,698	11,974	12,695	13,973	15,594	15,080	9,000	16,000
ベビーカーレンタル	-	-	283	419	451	470	240	500

\*新型コロナウイルス感染症による人数制限のため

【実施内容】

- ・一時託児：未就学児とともに来庁した区民が、手続きを円滑に行うことができるよう、一時託児を実施します。利用ニーズに応え、0歳児の託児も実施し、支援を充実させます。
- ・情報コーナー：「情報コンシェルジュ」による妊娠期から子育て期の情報収集や提供、相談対応を行います。実施にあたっては区役所の母子保健コーディネーターや地域子育て支援拠点の子育てパートナーと連携します。転入者など、戸塚区の子育て支援の入り口として利用される方々が、新生活等快適に過ごしていただけるよう、一人一人に寄り添い対応します。
- ・一時託児スペースや情報コーナー等、レイアウトを変更し区民が効果的に利用できるようにします。
- ・ベビーカーレンタル：戸塚駅周辺で利用できるベビーカーの無料レンタルを行うとともに、有効に活用されるよう周知を行います。

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子育て応援ルーム「とことこ」運営事業	8,558	9,133	△ 575	レイアウト変更済のため減
事業費合計	8,558	9,133	△ 575	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	上原 嘉明	三橋 静香	山崎 友子

( 戸塚 区 - 27 )

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成24年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	とつか健康パワーアップ事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,616	0	0			2,616
前年度	2,804	0	0			2,804
増△減	△ 188	0	0	0	0	△ 188

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	1,068	1,549	2,601	事業費	2,616	2,616
決算	1,068	1,549	2,601	一般財源	2,616	2,616
決 算	1,330	1,601	2,726	方針に関する決裁 種別( )		
決算	1,330	1,601	2,726	有:件名( )、日付(年月)		

事業の概要(目的)	区民の健康寿命延伸を目指し、食・口腔・運動など様々な視点から、区民自らが自身の健康維持・増進について取り組むことができるよう、区民の健康づくり活動を支援します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの推進役である保健活動推進員や食生活等改善推進員に対する、区民の認知度を高める仕組みが必要です。</li> <li>健康に関心のない人や日ごろ区役所の健康講座等に参加する機会のない人に対しても、健康づくりに親しむ機会が必要です。</li> <li>働き子育て世代は、普段から運動する習慣が少なく、気軽に楽しくできる運動の啓発と、運動の継続支援が必要です。</li> <li>災害時等においても適切な健康行動がとれるよう、平常時から啓発をすすめる必要があります。</li> </ul>
----------	---

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望		
-------------	-----------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	健康増進法、横浜市がん撲滅推進条例、第2期健康横浜21、横浜市食育推進計画、横浜市保健活動推進員規則、食生活等改善推進員養成及び活動支援事業実施要綱、戸塚健康まつり補助金交付要綱、横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例
------------	--

【実績の推移・今後見込み】					
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
健康まつり参加者数	9,116	7,928	8,295	9,095	未実施

【実施内容】	<p>《健康まつり》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い年代が健康づくりに関心を持ち、取り組めるように啓発するため、健康まつりを開催します。</li> </ul> <p>《団体の周知・活動支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健活動推進員及び食生活等改善推進員の活動を紹介する冊子を作成し、区民に広く周知します。</li> <li>保健活動推進員及び食生活等改善推進員が効果的に活動できるよう必要物品の提供など活動支援を行います。</li> </ul> <p>《気軽にできる運動啓発》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普段運動をしていない人も気軽に取り組めるメニューや解説動画を提供することで、一人ひとりが自分のライフスタイルにあった運動を取り入れることができるようになります。</li> </ul> <p>《ウォーキングマップを活用した健康づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で気軽に取り組めるウォーキングを通じて、楽しみながら健康づくりに取り組めるよう子どもと一緒に歩けるコースや公園等の運動できる場所などについて紹介します。</li> </ul> <p>《災害時の口腔ケア啓発》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時には、慣れない避難生活のストレスや水不足が原因で、むし歯・歯周病などお口の問題が生じやすく、高齢者では誤嚥性（ごえんせい）肺炎にもかかり易くなります。これらの疾病を予防するための適切な口腔ケアの方法を周知・啓発するリーフレットを作成します。</li> </ul>
--------	---

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
健康まつり	658	428	230	実績に基づく増
団体の周知活動・活動支援	446	630	△ 184	備品購入なしによる減
マラニックイベント等	0	1,067	△ 1,067	事業終了による減
柏尾川ナイトラン	0	563	△ 563	事業終了による減
気軽に出来る運動啓発	600	0	600	新規事業による増
ウォーキングマップを活用した健康づくり	596	0	596	新規事業による増
災害時の口腔ケア啓発	316	116	200	デザイン委託の増
事業費合計	2,616	2,804	△ 188	

【根拠とするデータ等】

平成30年国民健康・栄養調査 平成28年度健康に関する市民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	松本 真佐人	尾崎 匡	吉田 智徳

[ 戸塚 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成29年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	大学と連携した 親子健康づくり事業
-----	----------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	15	1, 2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	487					487
前年度	1,143					1,143
増△減	△ 656	0	0	0	0	△ 656

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	1,000	1,198	1,361	予 算	1,143	1,143
メリット+一般財源	1,000	1,198	1,361	一般財源	1,143	1,143
決 算	1,024	1,129	1,296	方針に関する決裁 種別( )		
メリット+一般財源	1,024	1,129	1,296	有:件名( )、日付(年月)		
				無		

事業の概要(目的)	生活習慣病は、健康寿命延伸を左右する大きな原因であり、その予防には、若年のときから対策を講じることが特に重要とされています。また、「働き・子育て世代」は、自分の健康を後回しにしがちです。そこで、小・中学生とその親を対象に、親子参加型のイベントを戸塚区の医療系大学・企業と連携して開催し、健康について考えるきっかけづくりをし、生活習慣病の予防を啓発していきます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	平成26年度版厚生労働白書によると、平成25年の生活習慣病関連疾病は、医療費のうちの医科診療医療費の約3割、死因の約6割を占めており、生活習慣の改善が健康寿命を伸ばすことにつながり、医療費の負担軽減にもつながります。親子参加型のイベントを開催することで、子どもが健康について考えるきっかけを作るとともに、「働き・子育て世代」の親にも健康について振り返る機会を提供し、生活習慣病の予防を意識付けすることにより、将来に向けた健康寿命を伸ばし、医療費の削減を図ります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート
-------------	-----------

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	健康増進法、第2期健康横浜21
------------	-----------------

【実績の推移・今後見込み】

	(単位：人)		
	29年度実績	30年度実績	元年度実績
親子参加型イベント来場者数	517	446	453

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、集客イベントとしての実施は中止し、オンライン上に動画や関連コンテンツを掲載。(戸塚区子ども家庭支援課と合同で「とつかおやこフェスタ」として実施。)

【実施内容】

- ・親子参加型イベントを戸塚区内の医療系2大学や横浜市スポーツ協会、企業や関連団体と連携・協力して実施します。
- ・出展内容については、事業の目的に則し、出展団体と協議し決定します。
- ・1日のみのイベントではなく、実施期間を広く設けることや事前申込制等とすることで、来場者の分散化を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
大学と連携した親子健康づくり事業	487	1,143	△ 656	実施方法の見直しによる減
事業費合計	487	1,143	△ 656	

【根拠とするデータ等】

平成26年度版厚生労働白書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	松本 真佐人	尾崎 匡	若林 園子

[ 戸塚 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成23年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	子育て家庭のヘルスアップ事業
-----	----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	15	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,256					1,256
前年度	1,533					1,533
増△減	△ 277	0	0	0	0	△ 277

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	950	841	933	予 算	1,256	1,256
メリット+一般財源	950	841	933	算	1,256	1,256
決 算	971	858	847			
メリット+一般財源	971	858	847			

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	乳幼児期は、生涯にわたる歯科保健活動の基盤が形成される時期であると共に、将来にわたる正しい食習慣の土台を築く大切な時期です。保護者の不安を解消し乳幼児期から正しい生活習慣を身につけられるよう、歯みがきや乳幼児食について発達段階に応じた支援を行います。また、家事や子育て優先で後回しにしがちな保護者に健康を見直す機会を提供するなど親の健康づくりを支援します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・現在行われている「乳幼児歯科・食生活相談」「地域育児教室」事業等では、0歳児の保護者から歯みがきや離乳食の今後の進め方を知りたいというニーズがとても高く、楽しい雰囲気の中で、保護者にとってはじめての歯みがき・離乳食の不安を解消し、早期に乳幼児のう蝕予防や食育に関する知識や技術を学ぶ機会を設ける必要があります。</p> <p>・40歳以降に急速に増加していく歯周疾患を予防するために、子育てに忙しく自分のことを後回しにしがちなこの時期の母親自身の口腔内の健康を見直す機会が必要です。また、この時期の母親は習慣的に運動することが難しく、赤ちゃんと一緒に楽しみながら日常生活の中で気軽に取り入れられる運動の啓発が必要です。</p> <p>・H30年度乳幼児健診において、1歳6か月児健診の個別相談(栄養)は187件(受診者の8.7%)で4か月児健診(2.7%)3歳児健診(5.2%)に比べて多くなっています。これは離乳食から幼児食への切り替えがうまくいかないなど不安が大きいことと表れて、健診も間隔があいてしまうこの時期に幼児食の進め方に対するフォローが必要と考えます。</p>
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート 6 区民要望

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	食育基本法、健康増進法、母子保健法、第2期健康横浜21「育ち・学びの世代の行動目標」、横浜市食育推進計画、横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例

【実績の推移・今後見込み】																																					
[令和2年度実績]																																					
《はじめての歯びか教室》 (4~6か月児の親子対象)																																					
《区役所会場:各回18組定員》 (単位:組)	《地域会場:各回10組定員》 (単位:組)																																				
<table border="1"> <tr> <th>実施月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> </tr> <tr> <td>申込組数</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>参加組数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> </table>	実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	申込組数	中止	中止	中止	14	10	16	18	18	18	参加組数				10	8	14	16	16	15	<table border="1"> <tr> <th>川上町</th> <th>とつどの</th> </tr> <tr> <td>中止</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14</td> </tr> </table>	川上町	とつどの	中止	16		14
実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																												
申込組数	中止	中止	中止	14	10	16	18	18	18																												
参加組数				10	8	14	16	16	15																												
川上町	とつどの																																				
中止	16																																				
	14																																				
《保護者のお口の健康チェック》	※定員20組として実施しました。																																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度:戸塚歯科医師会関連イベント中止に伴い中止</li> <li>令和元年度:6月6日実施(戸塚歯科医師会関連イベント内) 28人参加</li> </ul>																																					
【実施内容】																																					
《はじめての歯びか教室》																																					
(4~6か月児の親子対象:定員 区役所 各回18組・地域会場 各回10組 年15回実施(区役所12回、地域会場3回))																																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>講話「歯みがきスタートと家族のお口の健康について」</li> <li>講話「離乳食の進め方」、実演「10倍粥とだしの取り方」</li> <li>親子体操(区役所実施回のみ)</li> </ul>																																					
《保護者のお口の健康チェック》6月の戸塚歯科医師会関連イベント内で来場保護者に実施																																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>講話「セルフチェックの方法について」</li> </ul>																																					
《おいしいおはなしよみかせ》(未就学児の親子対象:1回13組年2回実施 会場:戸塚地区センター第1会議室)																																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館司書による絵本の読み聞かせ(食べ物の話や歯みがきの話)と絵本に出てくる食べ物を使った料理の紹介や歯みがきの講話による体験型食育講座</li> </ul>																																					

《幼児の食育教室》（年8回（4日×2回/日）実施、1回10組 対象：1歳6か月児～2歳0か月）  
 ・離乳食から幼児食への移行時期や、食形態のポイントについて 栄養士の講話、調理実演

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
はじめての歯びか教室	993	1,115	△ 122	内容、定員の見直しによる減
保護者のお口の健康チェック	36	36	0	
おいしいおはなしよみきかせ	136	277	△ 141	内容、定員の見直しによる減
幼児の食育講座	91	105	△ 14	内容、定員の見直しによる減
			0	
			0	
事業費合計	1,256	1,533	△ 277	

【根拠とするデータ等】

乳幼児歯科相談実施報告、保護者のお口の健康チェックアンケート集計結果

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	松本 真佐人	尾崎 匡	若林 園子

( 戸塚 区 - 30 )

[ 戸塚 区 福祉保健 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）推進事業
-----	----------------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,651					5,651
前年度	6,647					6,647
増△減	△ 996	0	0	0	0	△ 996

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,009	4,341	4,822	予算	事業費	2,507	2,507
	メリット+一般財源	3,009	4,341	4,822		一般財源	2,507	2,507
決算	事業費	2,782	2,337	4,339	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	2,782	2,337	4,339	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			

事業の概要(目的)	令和3年度が初年度となる第4期とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）を推進することで、誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現を目指します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>○ 少子高齢化や人口減少の進展、世帯の小規模化等、社会状況が大きく変化している中で、地域では様々な課題が複雑・多様化しています。また、複数の問題を同時に抱えるなどの「複合的な課題」や、既存の支援制度では対応が難しい「制度の狭間の問題」など、支援のニーズが多様化しています。</p> <p>○ 複雑・多様化する課題へ的確に対応するためには、これまで以上に地域の住民や団体、事業者、区社協、地域ケアプラザ、区役所等が地域課題を共有し、課題解決に向けた検討や具体的取組を協働により進める必要があります。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	----------	---------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 基本目標 こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	社会福祉法第107条、とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）策定・推進委員会運営要綱、とつかハートプラン補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
とつかハートプラン策定・推進委員会（開催回数）	2	2	2(※)	1	3
18地区情報共有連絡会（開催回数）	2	2	2	1	1

※ うち1回は書面開催

【実施内容】

- 《とつかハートプランの推進》
- 区計画の取組が進むよう、とつかハートプラン策定・推進委員会を開催します。
  - 地区別計画の取組が進むよう、地区別計画推進組織を開催します。また、各地区の情報を共有する場として、18地区情報共有連絡会を開催します。
- 《とつかハートプランの取組支援》
- とつかハートプランの推進に資する地域活動を支援する補助金を交付します。
- 《第4期とつかハートプランの策定》
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、策定期を令和3年3月から9月に見直しました。引き続き、地域住民や関係機関とともに策定を進めます。特に、地区別計画の策定については、地域住民が主体的に策定を進められるよう、地域連携チーム（区役所、区社協、地域ケアプラザ）が連携して地区別計画推進組織を支援します。
- 《とつかハートプランの普及啓発》
- 第4期とつかハートプランを広く周知するため、広報よこはまを活用した広報を行うとともに、幅広い層が参加可能な計画発表会を開催します（計画発表会については、令和4年度からは活動報告会とし、各地区での活動を広く周知する場とする方針です）。
  - マスコットキャラクター「こころん」を活用した横断幕やのぼり旗の掲出等により、とつかハートプランの普及啓発を行います。
- 《地域連携チーム研修》
- 区役所、区社協、地域ケアプラザの職員から構成される地域連携チームが、地域との連携の中で必要となる知識を習得できるよう、区政推進課地域力推進担当と連携しながら研修を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
とつかハートプランの推進	385	558	△ 173	開催回数見直しによる減
とつかハートプランの取組支援	503	806	△ 303	普及啓発へ移行による減
第4期とつかハートプランの策定	3,144	4,540	△ 1,396	委託期間短縮による減
とつかハートプランの普及啓発	1,521	645	876	広報強化による増
地域連携チーム研修	98	98	0	前年度同額
事業費合計	5,651	6,647	△ 996	

【根拠とするデータ等】

人口、世帯数、要介護認定者数、将来人口、年齢別人口推計 等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	松本 真佐人	渡辺 光	谷口 洋一

( 戸塚 区 - 31 )

[ 戸塚 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成19年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名 ～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-行政運営			31	1		事業評価書番号	
	中期計画-財政運営							
	重点事業							
	新規・拡充							
	温暖化対策関連事業							

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本 年 度	1,029					1,029
前 年 度	1,001					1,001
増△減	28	0	0	0	0	28

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	990	983	992	予 算 事業費	1,029	1,029
メリット+一般財源	990	983	992	予 算 一般財源	1,029	1,029
決 算 事業費	960	982	991	方針に関する決裁 種別( )		
メリット+一般財源	960	982	991	有:件名( )、日付(年月)		
				(無)		

事業の概要(目的)	精神障害者の地域生活を支援するため、身近な地域ケアプラザで精神障害者向けの活動支援と普及啓発を行います。
-----------	--

(説 明)

1 地域の課題等  
精神障害や疾患を持つ方は年々増え続けており、戸塚区においては精神保健福祉手帳所持者数3,150人、自立支援医療(精神通院医療)利用者数4,947人と、ともに市内第1位となっています。精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築を促進することが求められている中で、地域移行・地域定着の促進が全市的な課題となっています。当事者の地域生活を支援していくために、①関係機関との連携を図りながら、支援体制の強化を協働で進めていくこと②障害当事者が地域で生活していくための理解を深める普及啓発を図ること③障害当事者やその家族へ社会資源や制度を分かりやすく周知し、活用を促していくことが重要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係  
令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等  
障害者基本法、障害者総合支援法、精神保健および精神障害者の福祉に関する法律

【実績の推移・今後見込み】  
精神障害当事者向けの活動支援のため、地域ケアプラザを会場とした通称「あつたまり場」を定期的に開設します。また、活動を通じ精神障害者への理解を深め、地域への普及啓発を行います。あつたまり場は、概ね月1回開催し、年間参加者数は延べ450人前後で推移しています。地域への普及啓発は、病気の理解や傾聴講座などを開催し、年間参加者数は延べ150～200人程度で推移しています。今後も同規模での推移を見込んでいます。

【実施内容】  
身近な地域ケアプラザへ委託し、次の事業を実施します。  
1 あつたまり場事業  
精神障害者の活動支援を行い、当事者相互の支え合いを通じたエンパワメント(力を伸ばす)を図ります。また、地域のボランティアにも支援者として参加していただくことで、地域啓発の一助とします。  
2 地域向け普及啓発  
戸塚区生活支援センターや区地域自立支援協議会、精神障害者を対象として活動する団体と連携を図り、地域に対して障害者理解の普及啓発を行います。  
3 連絡会  
連絡会を年3回開催し、区内全体の情報交換や連絡調整を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業	1,029	1,001	28	感染症予防対策物品購入のための増
事業費合計	1,029	1,001	28	

【根拠とするデータ等】  
横浜市こころの健康相談センター集計値(30年度版)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	樋田 美智子	高橋 明子	高橋 和香

[ 戸塚 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名
戸塚区地域包括ケアシステム構築推進事業【前年度：戸塚区高齢者見守りネットワーク事業】

特記事項
中期計画-38の政策 ○
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,700					2,700
前年度	3,287					3,287
増△減	△ 587	0	0	0	0	△ 587

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	2,078	2,072	3,161	予 算	2,700	2,700
メリット+一般財源	2,078	2,072	3,161	算	2,700	2,700
事業費	1,940	2,154	3,119			
決算	1,940	2,154	3,119			
メリット+一般財源	1,940	2,154	3,119			

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
(無)

事業の概要(目的)	年齢を重ねても地域で自分らしい日常生活を送れるよう、様々な取組を有機的につなげながら、地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

・年々高齢化率が上昇し、それに伴い、認知症高齢者の増加、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯も増えていきます。そのため、「見守り・声かけ」を中心とした活動が、地域包括支援センターや事業者等とのネットワークの中で行われるなど、「地域で互いに支え合えるしくみづくり」は重要な課題となっています。

・認知症になっても尊厳と希望をもって生きることができるよう、認知症理解の促進や本人発信など、社会参加への支援が求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	------------	-----------	--------

2 運営方針等との関係

令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等

戸塚区地域ネットワーク訪問事業実施要綱、戸塚区地域ネットワーク見守り事業実施要綱、横浜市認知症高齢者地域支援事業実施要綱、第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

【実績の推移・今後見込み】

1 地域ネットワーク訪問事業 ひとり暮らし高齢者等訪問等実施状況の推移(各年度末現在)(単位：件、人)

	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
訪問等実績延数	8,724	9,347	7,226	9,000	9,000
訪問員数	423	459	477	460	460

2 地域ネットワーク見守り事業

(1) 協力事業者等からの通報件数 (単位：件)					(2) 登録事業者の推移 (各年度末現在) (単位：者)				
29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
30	54	47	47	47	371	383	383	383	390

3 認知症高齢者等あんしんネットワーク事業

(1) 「みつけてネット」登録者数 (各年度末現在) (単位：人)						(3) 区内認知症カフェ	
	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み	令和2年7月末現在	令和3年度見込み
登録者数	191	240	313	370	430	8か所	9か所
新規	61	74	85	70	70		
削除	7	25	9	10	10		
(2) 物忘れ相談実施件数 (年度末現在)							
	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み		
相談件数	17	15	15	15	15		

4 地域ケア会議推進事業 地域ケア会議開催回数、参加人数

	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
開催回数	27	24	19	22	22
参加人数	304	180	187	200	200

※地域ケアプラザ・区職員は除く

【実施内容】

《地域ネットワーク訪問事業》

◇ 定期訪問・支えあい体制づくりについて、戸塚区社会福祉協議会への委託事業

＜委託内容＞

- ・各地区社会福祉協議会による訪問員（民生委員、友愛活動委員）の定期的な「見守り・声かけ」活動を実施します。
- ・地区内の訪問活動の情報交換や連絡調整を行うための「戸塚区地域ネットワーク訪問事業地区連絡会」を開催します。
- ・訪問員のスキルアップのための研修会の実施など訪問員や福祉ボランティアを確保・育成します。
- ・区内全体の情報交換及び連絡調整のための「戸塚区地域ネットワーク訪問事業代表者会議」を実施します。

《地域ネットワーク見守り事業》

- ・高齢者等を見守り、安否の日常的な把握や異変が確認された時の的確な対応を推進するため、地域全体での「ゆるやかな見守りの体制」の充実に図ります。
- ・地域ネットワークの一層の充実に図るため、「見守り協力機関」や「見守り協力事業者」等と情報共有及び意見交換等を行う「みまもりネット」連絡会を開催します。
- ・「見守り」の対象者が増加していく中で、より多くの人に本事業を知っていただき、地域全体で高齢者等を見守る体制を強化するため、効果的に啓発活動を行います。

《認知症高齢者等あんしんネットワーク事業》

- ・認知症高齢者等の行方不明発生時等に、関係機関等による連絡・調整により、早期に発見し保護につなげます。関係機関との連絡会を開催し、情報共有や意見交換等を通じて連携強化を図ります。
- ・認知症の方が早期の相談につながるよう、昨年度作成したリーフレットを増刷し、関係機関に配架します。
- ・認知症の方が社会参加できるよう、認知症疾患医療センターや地域包括支援センター等と連携し、認知症の方が社会参加できる仕組みづくりを行います。【新規】

《地域ケア会議推進事業》

- ・高齢者が住み慣れた地域で長く安心して暮らせるために、地域で暮らす自分たちで住み良い地域をつくることを目的に開催している「地域ケア会議」について、普及・啓発のためのリーフレットを増刷します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域ネットワーク訪問事業	858	858	0	前年度同額
地域ネットワーク見守り事業	1,038	1,056	△ 18	啓発物品の見直しによる減
認知症高齢者等あんしんネットワーク事業	704	373	331	新規事業に伴う増
地域ケア会議推進事業（旧：地域包括ケアシステム構築推進事業）	100	1,000	△ 900	一部事業完了に伴う減
事業費合計	2,700	3,287	△ 587	

【根拠とするデータ等】

町丁別世帯人員別世帯数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	樋田 美智子	今井 岳夫	位高 千実

[ 戸塚 区 生活衛生 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成19年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	食と暮らしの安全・安心応援事業
-----	-----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,246					1,246
前年度	1,119					1,119
増△減	127	0	0	0	0	127

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	610	517	1,163	予算	事業費	893	893
	メリット+一般財源	610	517	1,163		一般財源	893	893
決算	事業費	755	522	1,079	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	755	522	1,079	有:件名( )、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	食中毒・感染症・薬物乱用による健康被害の防止、ペットの適正飼育の推進、飼い主のいない猫対策等により、区民の安全で快適な生活を確保します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等  
 市内では食肉や魚類の寄生虫(アニサキス)による食中毒が依然発生しており、戸塚区内においても家庭を原因とする食中毒が発生しています[R2.1月～8月:4件]。健康危害の未然防止のために、営業者や区民に向けた、継続的な情報提供と予防啓発が求められています。新型コロナウイルス感染症の影響では、テイクアウトやデリバリーを行う飲食店等が増えており、テイクアウト等による食中毒の予防啓発が必要となっています。  
 また、飼い主のいない猫対策やハチ駆除について強い区民要望があり、解決に向けたサポートが求められています。さらに近年の自然災害発生を背景に災害時におけるペットとの同行避難に区民の関心は高まっていますが、各地域防災拠点での取組状況に差異が見られています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	------------	----------	-----------	--------

2 運営方針等との関係  
 令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「安全・安心を実感できるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等  
 食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市猫の適正飼育ガイドライン 等

【実績の推移・今後見込み】

(単位：回、件、枚)

	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)
食中毒・感染症予防に関する啓発回数	30	25	30	30
犬・猫等に関する苦情・相談件数	458	499	550	500
ハチ苦情・相談件数	535	365	500	500
災害時ペット対策啓発回数/ペット手帳配布数	8/2,500	9/2,500	7/2,500	8/2,500

【実施内容】

- 食中毒・感染症・薬物乱用防止対策事業
  - 食中毒・感染症の予防、薬物乱用防止に係るパネル展の開催や広報による啓発を行います。
  - 新型コロナウイルス感染症の影響で増えているテイクアウト等をしている飲食店等に対し、食中毒予防啓発を行います。
- ハチ対策及び動物適正飼育啓発事業
  - ハチの巣の早期駆除や刺傷事故防止のためのパネル展の開催や広報による啓発を行います。また、駆除器材の貸出等で自主駆除を支援します。
  - 地域猫活動を推進するため、区民ボランティアと連携して地域の取り組みを支援します。また、飼い主のいない猫の苦情を減らすための超音波式ねこ被害軽減器の貸出を行います。
  - 地域防災拠点でのペットの受入体制の整備支援としてペット受付セットを各拠点に配布、ペット同行避難訓練等の啓発をし、訓練支援を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食中毒・感染症・薬物乱用 防止対策事業	433	511	△ 78	啓発物品見直しによる減
ハチ対策及び動物適正飼育 啓発事業	813	608	205	防災拠点ペット受入セッ ト購入による増
事業費合計	1,246	1,119	127	

【根拠とするデータ等】

市内食中毒発生件数（令和元年）、食の安全に関するアンケート（令和元年度）  
市内飼い主のいない猫苦情受付件数（令和元年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	川崎 俊明	小野澤 みのり	内田 裕美

令和3年度 戸塚区個性ある区づくり推進費【統合事務事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	統合事務費	31,432	31,297	31,432	31,087	0	210
2	広報よこはま発行事業	10,135	8,839	10,135	8,839	0	0
3	市民相談事業	1,894	1,894	1,894	1,894	0	0
4	クリーンタウン横浜事業	2,697	2,697	2,592	2,592	105	105
5	消費生活推進員活動事業	1,040	1,040	1,010	1,010	30	30
6	緊急時情報システム運用事業	740	740	640	640	100	100
7	スポーツ推進委員支援費	3,661	3,661	2,269	2,269	1,392	1,392
8	青少年指導員事業	3,016	3,016	4,673	4,673	△ 1,657	△ 1,657
9	学校・家庭・地域連携事業	1,025	1,025	1,025	1,025	0	0

(様式5-1) 令和3年度 事業計画書【統合事務事業費】

No.	1
-----	---

[ 戸塚 区 総務 課 ]

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	その他	事業開始年度	平成26年度
------	--------	---------	-----	--------	--------

事業名	統合事務費
-----	-------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	1
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	31,432		135			31,297
前年度	31,432		345			31,087
増△減	0	0	△ 210	0	0	210

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	31,015	31,133	31,654
メリット+一般財源	30,720	30,818	31,309
事業費	30,850	31,800	30,469
メリット+一般財源	30,555	31,485	30,124

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	31,641	31,641
一般財源	31,296	31,296
方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年 月) 無		

事業の概要(目的)	区役所業務の運営に必要な事務経費
-----------	------------------

(説明)	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた組織運営 ～区民に信頼され親しまれる区役所づくり～
------	---

【実績の推移・今後見込み】

区役所各課において、事務経費の節減に努め、効率的かつ円滑に業務を執行しています

【実施内容】

区役所各課の業務運営に要する事務経費を適正に執行します。

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業	本年度	前年度	差引	説明
総務課	7,730	7,672	58	実績による増
区政推進課	663	529	134	実績による増
地域振興課	1,249	1,249	0	前年度同額
戸籍課	4,119	4,329	△ 210	収入証紙取扱い終了による減
税務課	468	468	0	前年度同額
福祉保健課	2,239	2,178	61	実績による増
高齢・障害支援課	3,251	3,300	△ 49	実績による減
子ども家庭支援課	2,628	2,628	0	前年度同額
生活支援課	8,875	8,875	0	前年度同額
土木事務所	210	204	6	実績による増
合計	31,432	31,432	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	飯田 晃	馬上 征人	小室 浩正

( 戸塚 区 - 事 )

(様式6-1) 令和3年度事業計画書【統合事務事業費】

No. 2

[戸塚区 区政推進課]

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	広報よこはま発行事業費
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	10,135		1,296			8,839
前年度	10,135		1,296			8,839
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	10,035	10,032	9,764
算 メリット+一般財源	8,811	8,808	8,540
決 事業費	9,763	9,882	9,891
算 メリット+一般財源	8,521	8,597	8,605

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	10,171	10,171
算 一般財源	8,947	8,947

事業の概要(目的)	区の基幹広報である広報よこはま区版の編集・発行をするとともに、ホームページやツイッターなどとも連動し、多くの区民に確実に伝えることができる広報事業を推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

地域ニーズや課題の多様化に伴い、行政の施策もきめ細かく多様なものとなっていますが、これらの行政情報を確実に伝えることが、区民一人ひとりが抱える課題解決に不可欠です。

また、区民意識調査(令和元年度実施)によると、広報よこはま戸塚区版は、区の情報の入手先として区民の約6割の方が利用する貴重な情報収集源となっています。広報よこはま戸塚区版1月号で行っている読者アンケートの結果もあわせ、これらを確実に編集方針に反映していくことが重要です。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	8 その他		
-------------	-----------	-------	--	--

2 運営方針等との関係

令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた組織運営  
～区民に信頼され親しまれる区役所づくり～

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

○広報よこはま戸塚区版発行部数 (単位：部)

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
発行部数	1,293,100	1,295,600	1,291,500	1,292,400	1,305,700	1,308,000	1,308,000

【実施内容】

広報よこはま戸塚区版を市版とあわせ月1回発行します。

また、区民対象の健康診断などをお知らせする、「戸塚福祉保健センターからのお知らせ(保存版)」を年1回、3月号に挟み込みます。

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広報よこはま戸塚区版発行	10,135	10,135	0	前年度同額
			0	
事業費合計	10,135	10,135	0	

【根拠とするデータ等】

広報よこはま戸塚区版発行部数実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	武 規和	上田 薫子	三石 枝里子

(様式6-1) 令和3年度事業計画書【統合事務事業費】

No. 3

[戸塚区 区政推進課]

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名 市民相談事業	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-行政運営	政策番号	主な施策番号	
	中期計画-財政運営			
	重点事業			
	新規・拡充			
	温暖化対策関連事業			

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,894					1,894
前年度	1,894					1,894
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,859	1,859	1,877	予	事業費	2,000	2,000
算	メリット+一般財源	1,859	1,859	1,877	算	一般財源	2,000	2,000
決	事業費	1,856	1,852	1,877	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	1,856	1,852	1,877	有:件名( )、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要(目的)	区民の皆様からの要望、陳情などの広聴事業により市政への反映、多岐にわたる区民相談に的確に対応します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律的な問題を抱えた区民の方々に対して、解決の糸口をつかむための機会を提供する必要があります。</li> </ul>			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	8 その他	
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた組織運営～区民に信頼され親しまれる区役所づくり～			
3 根拠法令・要綱等				

【実績の推移・今後見込み】  
 法律相談は、区民の皆様からのニーズが高く、平成27年度からは例年実施されてきた毎週金曜日の午後に加え、隔週火曜日の午後も相談を実施し、相談回数を増やした結果、混雑状況の緩和につながりました。次年度も引き続き、同様の頻度で実施し、区民の皆様にご満足いただける相談環境の実現に努めます。

(単位：回)

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
法律相談回数	74	72	72	71	72	72

【実施内容】  
 ・特別相談（法律相談、公証相談、行政相談、交通事故相談、行政書士相談）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民相談事業	1,894	1,894	0	前年度同額
			0	
事業費合計	1,894	1,894	0	

【根拠とするデータ等】  
 法律相談回数実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	武 規和	上田 薫子	武井 智也

[ 戸塚区 地域振興課 ]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名	クリーンタウン横浜事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,697					2,697
前年度	2,592					2,592
増△減	105	0	0	0	0	105

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,605	2,413	2,592	予算	事業費	2,698	2,698
	メリット+一般財源	2,605	2,413	2,592		一般財源	2,698	2,698
決算	事業費	2,383	1,503	2,603	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	2,383	1,503	2,603	有:件名( )、日付(年月)			
				無				

事業の概要(目的)	戸塚駅及び東戸塚駅周辺の「美化推進重点地区」の清掃や戸塚駅周辺の「喫煙禁止地区」でのポイ捨て禁止啓発を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	戸塚区では、JR戸塚駅とJR東戸塚駅の2つの駅を中心として「美化推進重点地区」が定められており、当該地区の美化推進を進めることが求められます。また、平成30年3月に、戸塚駅周辺は「喫煙禁止地区」に指定され、今後も継続的に歩きたばこ・ポイ捨て防止に取り組む必要があります。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」		
3 根拠法令・要綱等	横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例		

クリーンタウン横浜事業【実施内容】

美化推進重点地区の美化推進を図るため、戸塚駅東口ペDESTリアンデッキの清掃業務委託を実施します。令和2年度末の美化推進員制度廃止に伴い、地区内清掃業については委託により実施します。引き続き、戸塚駅と東戸塚駅の周辺で美化推進の啓発キャンペーンを行います。地域清掃等で活用するバイオマス製ごみ袋を購入します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
美化推進員啓発清掃活動事業	0	864	△ 864	美化推進員制度廃止による減
クリーンタウン横浜事業	2,697	1,728	969	美化推進清掃委託化による増
			0	
事業費合計	2,697	2,592	105	

【根拠とするデータ等】

横浜市ごみと資源の総量

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	澤田 亮仁	富田 忠	稲葉 拓哉

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	消費生活推進員活動事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,040					1,040
前年度	1,010					1,010
増△減	30	0	0	0	0	30

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	865	905	101	予算	事業費	1,010	1,010
	メリット+一般財源	865	905	101		一般財源	1,010	1,010
決算	事業費	859	881	974	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	859	881	974	有:件名( )、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	高齢者の消費トラブルや架空請求など、身近な消費者被害を未然に防止するため、消費生活推進員と協力して適切な情報を発信し、安全で快適な消費生活を実現します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	消費生活に関する社会経済状況が変化している中で、消費生活推進員は今後さらに地域に根ざした活動を進めていく必要があります。消費生活に関する知識・情報の提供に加え、消費者被害の防止に向けた啓発、リサイクル等環境に配慮した消費行動の推進等、地域と連携して活動を行っていきます。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「人と人がつながるまちづくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	消費者基本法、消費者教育の推進に関する法律、横浜市消費生活条例、横浜市消費生活条例施行規則、横浜市消費生活推進員要綱、横浜市消費生活推進員戸塚区活動助成金交付要領
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

		(単位：人、回)					
		27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
委嘱者数※		175	180	174	173	158	161
地区活動回数		91	95	95	96	94	50
活動参加者数		1,725	1,286	3,240	2,727	3,620	1,000

※委嘱者数は、各年度末現在

【実施内容】

- 地区代表活動に対する助成  
各地区代表及び副代表が、それぞれの活動についての情報共有を行うと同時に、区全体を対象として活動を行います。  
(地区代表会議、勉強会・講演会、施設見学会、消費生活展の開催 等)
- 地区活動に対する助成  
消費生活推進員が、各地区の地域住民に対して地域に根ざした活動を行います。  
(消費者被害未然防止に関する啓発講座の開催、高齢者の見守り活動、環境に配慮した購買行動の推進、施設見学 等)
- 広報活動に対する助成  
消費生活推進員の活動紹介及び消費生活関連情報の認知度向上を目指し、ものづくり自慢展と同時に消費生活展を開催します。また、一年の活動の紹介として消費生活推進員だよりを発行します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域活動費	1,040	1,010	30	委嘱式経費の増
			0	
事業費合計	1,040	1,010	30	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	中村 航	岡部 遥

(様式6-1) 令和3年度事業計画書【統合事務事業費】

No. 6

[戸塚区 総務課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	令和2年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	緊急時情報伝達システム運用事業
-----	-----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
34	1
35	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	740					740
前年度	640					640
増△減	100	0	0	0	0	100

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 事業費	1,115	899	640
算 メリット+一般財源	1,115	899	640
決 事業費	314	493	602
算 メリット+一般財源	314	493	602

歳出	令和4年度	令和5年度
予 事業費	740	740
算 一般財源	740	740

事業の概要 (目的)	避難勧告等の緊急情報を即時勧告対象区域に居住する世帯や自治会・町内会長等に伝達し、風水害における逃げ遅れゼロを図るため、緊急時情報システムを運用します。
------------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即時避難勧告対象区域に居住する世帯には避難勧告等の緊急情報を迅速に伝達し、適切な避難行動につなげていただく必要があります。特に固定電話しか持たない高齢者世帯等に緊急時情報伝達システムへの登録を促進する必要があります。</li> <li>・自治会・町内会長に対し、緊急時情報伝達システムへの登録を促すことで風水害時における共助の推進を図る必要があります。</li> <li>・土砂災害警戒区域や浸水想定区域内の要援護者施設や、浸水想定区域内の地下施設に災害情報を伝達し、適切な避難行動を促します。</li> <li>・災害情報をSNS等に自動で連携するなど、区民への情報提供を迅速に行う必要があります。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「安全・安心を実感できるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	水防法、土砂災害防止法、横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、横浜市防災計画

【実績の推移・今後見込み】

緊急時情報伝達システムへの登録数内訳	(単位：件)				
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
即時避難勧告対象区域内に居住する世帯	0	7	55	60	62
自治会・町内会長等	70	116	123	114	120
土砂災害警戒区域・浸水想定区域内の要援護者施設	-	195	200	200	200
浸水想定区域内の地下施設	-	14	15	15	15

【実施内容】

土砂災害警戒情報の発表時等に、避難勧告等の緊急情報を事前に登録された電話番号に音声で伝達するほか、要援護者施設等に対しても当該情報をメールやFAXで伝達します。また、風水害時に備えて定期的に配信訓練を行います。

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
緊急時情報伝達システム運用事業	740	640	100	啓発チラシ配布による増
事業費合計	740	640	100	

【根拠とするデータ等】

緊急時情報伝達システムへの登録世帯数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 係
	飯田 晃	神山 徳彦	石島 直

( 戸塚 区 - 6 )

(様式6-1) 令和3年度事業計画書【統合事務事業費】

No. 7

[戸塚区 地域振興課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成7年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	スポーツ推進委員支援費
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	7	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,661					3,661
前年度	2,269					2,269
増△減	1,392	0	0	0	0	1,392

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	3,469	2,269	3,926
決算 メリット+一般財源	3,469	2,269	3,926
予算 事業費	3,314	2,202	2,515
決算 メリット+一般財源	3,314	2,202	2,515

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	2,269	3,661
決算 一般財源	2,269	3,661

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るため、スポーツ推進委員の活動を支援します。
-----------	---

(説明)				
1 地域の課題等	区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動を振興し、心身の健康やリフレッシュ、地域交流の活性化を推進する必要があります。			
地域の課題等の収集手段	6 区民要望			
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「人と人がつながるまちづくり」			
3 根拠法令・要綱等	スポーツ基本法・横浜市スポーツ推進委員規則・横浜市スポーツ推進委員推薦要綱・戸塚区スポーツ推進委員活動補助金交付要綱			
【実績の推移・今後見込み】				
各地区で開催する、スポーツレクリエーション事業に毎年多くの区民が参加しています。また、スポーツ推進委員は、横浜マラソン大会や世界トライアスロン大会といった、横浜市内で行う大きなスポーツイベントにも、沿道警備などの運営に携わり、地域の活動だけでなく、横浜市のスポーツ事業においても、大きな役割を担っています。				
【実施内容】				
スポーツ推進委員連絡協議会事業の運営及び運営費				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
スポーツ推進委員事業	3,569	2,269	1,300	委嘱年度による増
スポーツ推進委員委嘱式	92	0	92	委嘱年度による増
			0	
事業費合計	3,661	2,269	1,392	
【根拠とするデータ等】				
データ活用にはなじまない事業です。				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 中村 航	地域活動係 田中 芳晴
--------------------	----------	---------	-------------

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名	青少年指導員事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	33	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,016					3,016
前年度	4,673					4,673
増△減	△ 1,657	0	0	0	0	△ 1,657

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	3,131	4,360	3,016
メリット+一般財源	3,131	4,360	3,016
決 算 事業費	3,095	4,215	3,016
メリット+一般財源	3,095	4,215	3,016

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	4,408	3,016
一般財源	4,408	3,016

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要 (目的)	青少年指導員活動に対し、交付金を交付します。
------------	------------------------

(説明)

1 地域の課題等  
 少子化、就労形態等の社会的な変化により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、継続的に地域で青少年の育成に取り組むことが必要です。また、地域で活動する団体間の交流を促進し、市民活動のより一層の活性化を図っていく必要があります。  
 青少年を健全に育成していくために、地域活動の促進や社会環境健全化への取組を進めることが必要となっています。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係  
 令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方  
 「人と人がつながるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等  
 横浜市青少年指導員要綱、戸塚区青少年指導員活動交付金交付要領

【実績の推移・今後見込み】 (単位：人)

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
青少年指導員数	205	197	197	210	212	205	206

※各年度末現在

【実施内容】  
 青少年指導員活動交付金として戸塚区青少年指導員連絡協議会に交付  
 ・区協議会活動（児童文化作品展、全体研修会、市・区の行事への参加・協力）  
 ・17地区協議会活動（野外活動、地域とのふれあい活動、児童文化作品展）  
 ・社会環境実態調査地区パトロール活動、青少年健全育成啓発キャンペーン活動

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青少年指導員事業	3,016	4,616	△ 1,600	委嘱替えないことによる減
青少年指導員委嘱式	0	57	△ 57	委嘱式がないことによる減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	3,016	4,673	△ 1,657	

【根拠とするデータ等】  
 データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 情野 純平	地域活動係 古田 汀
--------------------	-------------	-------------	---------------

(様式6-1) 令和3年度 事業計画書【統合事務事業費】

No. 9

[ 戸塚 区 こども家庭支援 課 ]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	学校連携	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	------	--------	--------

事業名	学校・家庭・地域連携事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
25	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,025					1,025
前年度	1,025					1,025
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,010	1,010	1,025
メリット+一般財源	1,010	1,010	1,025
決算 事業費	967	1,007	993
メリット+一般財源	967	1,007	993

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,025	1,025
一般財源	1,025	1,025

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	区内の11中学校区において、学校・家庭・地域とが協働で行う事業を通じて、青少年の健全な育成を図ります。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	少子化や就労形態等の社会的な変化等により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、地域で青少年の育成に取り組むことが必要です。
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	戸塚区学校・家庭・地域協働事業交付金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

(単位：事業)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込み
交付事業数	24	24	24	26	27	27	27	27

【実施内容】

各中学校区実行委員会に対し、総会開催経費等に充てる基本交付金と地域の特性を生かして中学校区毎に学校、家庭、地域が連携、協働して実施する青少年の健全育成事業に対する事業交付金を交付します。令和元年度に学校への交付金の交付を迅速に行うために申請時期等の変更を含め、「戸塚区学校・家庭・地域協働事業交付金交付検討会運営要綱」の改正を行いました。事業交付金の交付にあたっては、全中学校区実行委員会に対してヒアリングを行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
学校・家庭・地域連携事業	1,025	1,025	0	
			0	
			0	
事業費合計	1,025	1,025	0	

【根拠とするデータ等】

データ活用にはなじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	金森 裕一	山本 真希	上野 将広

令和3年度 戸塚区個性ある区づくり推進費【区庁舎・区民利用施設管理費】一覧

(単位：千円)

事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
	総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
区庁舎	70,808	50,872	78,738	51,259	△7,930	△387
行政サービスコーナー	1,625	1,625	1,603	1,596	22	29
区版市民活動支援センター	35,658	35,658	35,463	35,463	195	195
土木事務所	12,786	12,751	12,555	12,484	231	267
公会堂	31,508	31,508	31,508	31,508	0	0
区民利用施設(地区センター他委託館)	402,128	401,994	402,117	402,038	11	△44
区民利用施設(広場・遊び場)	1,356	1,356	1,362	1,362	△6	△6
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,307	7,307	7,350	7,350	△43	△43

令和3年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[ 戸塚区 総務課 ]

(単位：千円)

事業区分	区庁舎	施設区分	区庁舎 駐車場 車両	担当	総務課	予算調整係
------	-----	------	------------------	----	-----	-------

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	70,808		19,936		50,872
前年度	78,738		27,479		51,259
増△減	△ 7,930	0	△ 7,543	0	△ 387

事業評価 書番号	2
事業評価 書番号	

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	75,383	72,033	70,523	予算	事業費	74,000	74,000
	メリット＋一般財源	53,608	52,981	49,597		一般財源	52,000	52,000
決算	事業費	74,015	72,085	70,716	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット＋一般財源	53,091	49,655	49,366	有:件名( )、日付(年月)			

(事業目的・概要)

戸塚区(総合)庁舎、駐車場及び公用車等の管理運営を行います。  
(根拠法令等)  
消防法、建築基準法、駐車場法、道路運送車両法、租税特別措置法、  
高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律、  
建築物における衛生的環境の確保に関する法律、横浜市駐車場条例等  
(施設概要等)

施設区分	名称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
区庁舎	戸塚区総合庁舎 (平成25年3月1日)	戸塚区戸塚町16番地17	RC造、SRC造、S造 地上9階地下3階	区庁舎・区文・交通広場・ 駐車場・駐輪場
公用車				区長車1台、総務部庁用車8 台、福祉保健センター庁用車 10台

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
<b>【歳入】</b>				(元年度決算)
24款5項2目(1)広告料収入	1,221	2,616	△ 1,395	広告モニター 2,616,000円
24款5項14目(3)光熱水費負担金	17,008	17,988	△ 980	光熱水費負担金 17,008,317円
24款5項14目(3)古紙売却収入	0	169	△ 169	古紙売却収入 108,093円
17款1項2目(2)区庁舎・市民利用施設等目的外使用料	180	179	1	広告モニター 89,896円
20款1項1目(2)建物貸付収入	1,527	1,527	0	自動販売機 1,527,768円
22款1項1目(1)資産活用推進基金繰入金	0	5,000	△ 5,000	
<b>合計</b>	<b>19,936</b>	<b>27,479</b>	<b>△ 7,543</b>	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
<b>【歳出】</b>				
<b>&lt;管理運営&gt;</b>	<b>5,199</b>	<b>11,097</b>	<b>△ 5,898</b>	
10節(1)消耗品費	施設維持用 1,341	施設維持用 1,844	△ 503	実績による減
10節(2)燃料費	自家発電機用 100	自家発電機用 100	0	前年度同額
10節(4)印刷製本費	マニフェスト 5	マニフェスト 15	△ 10	元年度実績による減
12節(1)清掃設備保守委託料	1,589	1,391	198	
	設備等保守点検委託 589	設備等保守点検委託 589	0	前年度同額
	清掃、ごみ処理等 1,000	清掃、ごみ処理等 802	198	古紙資源化経費の増
12節(4)企画調査その他委託料	庁舎環境整備委託 800	庁舎環境整備委託 6,000	△ 5,200	整備か所減による委託料の減
13節(1)使用料及び賃借料	814	897	△ 83	
	AEDレンタル 150	AEDレンタル 231	△ 81	長期継続契約の実績による減
	寝具レンタル 664	寝具レンタル 666	△ 2	契約実績に基づく減
17節(1)庁内備品費	施設維持用 500	施設維持用 800	△ 300	実績に基づく減
18節(40)会費及び負担金	講習受講料 50	講習受講料 50	0	前年度同額
<b>&lt;管理費(公共料金)&gt;</b>	<b>60,181</b>	<b>62,128</b>	<b>△ 1,947</b>	元年度実績による減
<b>&lt;公用車管理運営&gt;</b>	<b>5,428</b>	<b>5,513</b>	<b>△ 85</b>	
10節(2)燃料費	ガソリン代 744	ガソリン代 825	△ 81	元年度実績数量による積算
11節(4)手数料	定期点検・タイヤ交換 100	定期点検・タイヤ交換 100	0	前年度同額
13節(1)使用料及び賃借料	4,584	4,588	△ 4	
	車両リース料 4,476	車両リース料 4,487	△ 11	現行契約による積算
	駐車料金・高速道路代 6	駐車料金・高速道路代 6	0	前年度同額
	NHK受信料 102	NHK受信料 95	7	契約台数の増
<b>合計</b>	<b>70,808</b>	<b>78,738</b>	<b>△ 7,930</b>	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	飯田 晃	馬上 征人	高橋 ちあき

令和3年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[ 戸塚区 総務課 ]

(単位：千円)

事業区分	行サビ	施設区分	行政サービスコーナー	担当	総務課	予算調整係
------	-----	------	------------	----	-----	-------

区分	金額	財源内訳				一般財源	事業評価書番号	該当なし
		国・県	諸収入					
本年度	1,625		0			1,625		
前年度	1,603		7			1,596		
増△減	22	0	△7	0	0	29		

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費	1,693	1,659	1,659
	メリット＋一般財源	1,688	1,652	1,652
決算	事業費	1,671	1,662	1,661
	メリット＋一般財源	1,667	1,658	1,658

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,603	1,603
	一般財源	1,596	1,596

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
(無)

(事業目的・概要)  
東戸塚行政サービスコーナーの管理運営を行います。

(根拠法令等)  
横浜市行政サービスコーナー規則

(施設概要等)

名称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
東戸塚行政サービスコーナー (平成元年10月30日)	戸塚区品濃町692 (平成17年1月4日移転)	鉄骨プレハブ造 延床156㎡	JR東戸塚駅連絡施設内

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
<b>【歳入】</b>				(元年度決算)
24款5項14目(3)古紙売却収入	0	7	△7	古紙売却収入 2,439円
<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>7</b>	<b>△7</b>	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
<b>【歳出】</b>				
<b>管理運営経費</b>	<b>566</b>	<b>550</b>	<b>16</b>	
10節(4)印刷製本費	ルート回収 5	ルート回収 5	0	前年度同額
12節(1)清掃設備保守委託料	503	487	16	
	警備委託 101	警備委託 101	0	前年度同額
	清掃委託 117	清掃委託 101	16	労務単価上昇による増
	自動ドア保守点検 55	自動ドア保守点検 55	0	前年度同額
	消防設備点検 60	消防設備点検 60	0	前年度同額
	ルート回収 170	ルート回収 170	0	前年度同額
13節(1)使用料及び賃借料	マットレンタル 58	マットレンタル 58	0	前年度同額
<管理費(公共料金)>	<b>1,059</b>	<b>1,053</b>	<b>6</b>	元年度実績に基づく増
<b>合計</b>	<b>1,625</b>	<b>1,603</b>	<b>22</b>	

資料は、公正・適正に作成しました	課長 飯田 晃	係長 馬上 征人	予算調整係 高橋 ちあき
------------------	---------	----------	--------------

( 戸塚区 - 行 )

(様式4-1)

# 令和3年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

(単位：千円)

事業区分	区活	施設区分	区版市民活動支援センター	担当	地域振興 課	地域活動 係
------	----	------	--------------	----	--------	--------

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源	事業評価 書番号	3
		国・県	諸収入					
本 年 度	35,658					35,658		
前 年 度	35,463					35,463		
増△減	195	0	0	0	0	195		

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予 算	事業費	35,234	35,234	35,463	予 算	事業費	36,953	36,953
	メリット+一般財源	35,234	35,234	35,463		一般財源	36,953	36,953
決 算	事業費	35,235	35,234	35,561	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源	35,235	35,234	35,561	有:件名( )、日付(年月) 無			

### (事業目的・概要)

地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指し、NPO法人と協働でとつか区民活動センターの運営を行います。

### (根拠法令等)

市民活動支援センター事業展開ガイドライン、とつか区民活動センター事業実施要綱

### (施設概要等)

名 称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
とつか区民活動センター (平成21年3月31日)	戸塚区川上町91-1 モレラ東戸塚3階	RC造、S造 238.16㎡	事務室、会議室、作業スペース、情報コーナー等
戸塚区役所3階 情報コーナー (平成25年3月11日)	戸塚区戸塚町16-17 戸塚区役所3階	RC造、SRC造、S造 区民広間の一部	情報コーナー、相談コーナー、打合せスペース

### (積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
<b>【歳出】</b>				
管理運営経費	35,658	35,463	195	
12節(4)企画調査その他委託料	24,972	24,972	0	前年度同額
13節(1)使用料及び賃借料	10,686	10,491	195	実績に基づく建物賃借料の増
合計	35,658	35,463	195	

資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	樺嶋 健行	山崎 修

( 戸塚区 一 支 )

令和3年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[ 戸塚 区 土木事務所 ]

(単位：千円)

事業区分	土木事務所	施設区分	土木事務所	担当	土木事務所	管理係
------	-------	------	-------	----	-------	-----

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源	事業評価 書番号	該当なし
		国・県	諸収入					
本 年 度	12,786		35			12,751		
前 年 度	12,555		71			12,484		
増△減	231	0	△ 36	0	0	267		

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予 算	事業費	11,315	11,234	12,515	予 算	事業費	12,746	12,746
	メリット＋一般財源	11,243	11,163	12,444		一般財源	12,711	12,711
決 算	事業費	11,062	11,646	12,418	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット＋一般財源	10,990	11,575	12,377	有:件名( )、日付( 年 月 )			
(無)								

(事業目的・概要)

戸塚 土木事務所の庁舎及び車両の管理運営を行います。

(根拠法令等)

消防法、建築基準法、駐車場法、道路運送車両法、租税特別措置法、横浜市庁舎管理規則  
建築物における衛生的環境の確保に関する法律、横浜市公有財産規則、横浜市駐車場条例等

(施設概要等)

施設	名 称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
土木事務所	戸塚土木事務所 (昭和54年4月)	戸塚区戸塚町2974-1	地上2階 R C造	庁舎・事務用
土木事務所車両	監督車15台、 作業車5台、 パトロールカー1台			

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				(元年度決算)
24款5項14目(3)光熱水費 負担金	35	55	△ 20	光熱水費負担金 35,741円
24款5項14目(3)古紙売却 収入	0	16	△ 16	古紙売却収入 5,381円
合計	35	71	△ 36	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
<管理運営>	2,773	2,622	151	
10節(1)消耗品費	施設維持用 50	0	50	衛生消耗品購入の増
10節(4)印刷製本費	マニフェスト 5	マニフェスト 4	1	実績による増
11節(1)通信運搬費	衛星携帯電話代 120	衛星携帯電話代 120	0	前年度同額
12節(1)清掃設備保守委託料	2,533	2,433	100	前年度同額
設備等保守点検委託	1,047	1,047	0	前年度同額
清掃、ごみ処理等	1,486	1,386	100	害虫駆除実施による増
13節(1)使用料及び賃借料	AED賃借料 65	65	0	前年度同額
<管理費(公共料金)>	4,297	4,264	33	元年度実績による増
<公用車管理運営>	5,716	5,669	47	
10節(2)燃料費	ガソリン代 255	ガソリン代 255	0	
11節(4)手数料	タイヤ履き替え 275	タイヤ履き替え 275	0	
13節(1)使用料及び賃借料	5,186	5,099	87	
監督車	監督車 2,159	監督車 2,619	△ 460	契約実績による減
作業車	作業車 2,223	作業車 1,676	547	契約実績による増
パトカー	パトカー 796	パトカー 796	0	
NHK受信料	NHK受信料 8	NHK受信料 8	0	
26節(1)公課費	自動車重量税 0	自動車重量税 40	△ 40	廃車による減
合計	12,786	12,555	231	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理係
	天野 実	山口 祐子	高橋 幸久

( 戸塚区 - 土 )

事業区分	公会堂	施設区分	公会堂	担当	地域振興 課	地域活動 係
------	-----	------	-----	----	--------	--------

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源	事業評価 書番号	4
		国・県	諸収入					
本 年 度	31,508					31,508	事業評価 書番号	
前 年 度	31,508					31,508		
増△減	0	0	0	0	0	0		

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	30,883	30,858	31,219	予	事業費	32,000	32,000
算	メリット＋一般財源	30,883	30,858	31,219	算	一般財源	32,000	32,000
決	事業費	31,158	30,858	31,934	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット＋一般財源	31,158	30,858	31,934	有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )			
				(無)				

(事業目的・概要)

公会堂の建物維持管理を実施します。

(根拠法令等)

横浜市公会堂条例、横浜市公会堂条例施行規則

(施設概要等)

名 称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
戸塚公会堂 (昭和53年10月11日)	戸塚区戸塚町127	RC造地下3階地上4階 延床面積1,578㎡	講堂：収容人員568人 会議室：2

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】 光熱水費負担金			0	(元年度決算)
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】 <管理運営>	0	0	0	
10節(1)消耗品費			0	
11節(4)手数料			0	
12節(4)企画調査その他委託料 設備等保守点検委託 清掃、ごみ処理等	0	0	0	
17節(1)庁内備品費			0	
17節(51)【資産】庁内備品費			0	
<管理費（公共料金）>			0	
<指定管理運営>	31,508	31,508	0	
12節(2)指定管理者委託料	31,508	31,508	0	
《参考》				
人件費	11,100	11,100	0	前年度同額
事務費・事務経費	5,322	5,322	0	前年度同額
管理費	23,958	23,958	0	前年度同額
消費税	2,266	2,266	0	前年度同額
その他	60	60	0	前年度同額
利用料金に係る 預かり消費税の補てん額	372	372	0	前年度同額
利用料金収入	△ 11,000	△ 11,000	0	前年度同額
その他収入	△ 570	△ 570	0	前年度同額
合計	31,508	31,508	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	岩崎 広之	情野 純平	田中 芳晴

事業区分	区民利用施設	施設区分	地区センター他 (委託館分)	担 当	地域振興 課 区民利用施設担当
------	--------	------	-------------------	-----	-----------------

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本 年 度	402,128		134			401,994
前 年 度	402,117		79			402,038
増△減	11	0	55	0	0	△ 44

事業評価 書番号	5
事業評価 書番号	

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算			
事業費	390,001	391,477	396,477
メリット+一般財源	390,001	391,405	396,405
決 算			
事業費	389,917	390,964	397,989
メリット+一般財源	389,917	390,885	397,907

	令和4年度	令和5年度
予 算		
事業費	411,000	411,000
一般財源	411,000	411,000
方針に関する決裁 有(年月)・種別()	無	

(事業目的・概要・根拠法令、施設概要等)  
別紙施設一覧のとおり

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
<b>【歳入】</b>				(元年度決算)
目的外使用料 (広告マット)	60	59	1	59,330円
目的外使用料 (広告ラック)	20	20	0	20,274円
目的外使用料 (広告モニター)	54	0	54	新規設置
計	134	79	55	
<b>【歳出】</b>				
指定管理者制度導入施設	<b>353,569</b>	<b>353,558</b>	<b>11</b>	
12節(2)指定管理者委託料	351,592	351,581	11	
地区センター	244,197	244,186	11	
大正地区センター	32,848	32,848	0	前年度同額
東戸塚地区センター	39,675	39,675	0	前年度同額
上矢部地区センター	35,895	35,895	0	前年度同額
戸塚地区センター	62,461	62,461	0	前年度同額
舞岡地区センター	36,645	36,645	0	前年度同額
踊場地区センター	36,673	36,662	11	賃金水準スライドによる増
こどもログハウス 踊場	8,088	8,088	0	前年度同額
老人福祉センター 戸塚柏桜荘	43,340	43,340	0	前年度同額
コミュニティハウス 倉田	13,984	13,984	0	前年度同額
倉田	13,984	13,984	0	前年度同額
スポーツセンター	41,983	41,983	0	前年度同額
その他経費	1,977	1,977	0	
13節(1)使用料及び賃借料	1,977	1,977	0	
12節(4)企画調査その他委託料	0	0	0	
その他管理委託施設	<b>48,559</b>	<b>48,559</b>	<b>0</b>	
12節(10)区民利用施設運営委託料	48,559	48,559	0	
コミュニティハウス	48,559	48,559	0	
深谷小	4,455	4,455	0	前年度同額
東汲沢小	8,766	8,766	0	前年度同額
平戸台小	8,810	8,810	0	前年度同額
名瀬中	8,809	8,809	0	前年度同額
秋葉中	4,442	4,442	0	前年度同額
柏尾小	4,469	4,469	0	前年度同額
下郷小	8,808	8,808	0	前年度同額
合 計	402,128	402,117	11	

:資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	情野 純平	田中 芳晴

(様式4-1)

令和3年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[ 戸塚 区 地域振興 課 ]

(単位：千円)

事業区分	区民利用施設	施設区分	広場・遊び場	担当	地域振興 課 区民利用施設担当
------	--------	------	--------	----	-----------------

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源	事業評価 書番号	該当なし
		国・県	諸収入					
本 年 度	1,356					1,356		
前 年 度	1,362					1,362		
増△減	△ 6	0	0	0	0	△ 6		

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,472	1,376	1,367	予	事業費	1,356	1,356
算	メリット+一般財源	1,472	1,376	1,367	算	一般財源	1,356	1,356
決	事業費	1,439	1,078	1,604	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	1,439	1,078	1,604	有(年 月) ・ 無			

(事業目的・概要・根拠法令、施設概要等)

別紙施設一覧のとおり

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
12節 委託料	650	650	0	
(4)企画調査その他委託料 遊具点検の委託	650	650	0	前年度同額
12節 委託料	522	522	0	
(10)区民利用施設運営委託料 子どもの遊び場 管理運営委託 13箇所	442	442	0	前年度同額
シルバー健康広 場管理運営委託 2箇所	80	80	0	前年度同額
15節 原材料費	63	63	0	前年度同額
町のはらっぱ				
18節 補助金	《121》	《127》	《△ 6》	
(11)町のはらっぱ運営費等補助金 町のはらっぱ管 理運営補助	《121》	《127》	《△ 6》	要綱改正に伴う補助金の減
合 計	1,356	1,362	△ 6	

資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	情野 純平	鈴木 達郎

( 戸塚区 - 広 )

(様式4-1)

# 令和3年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[ 戸塚 区 総務課・地域振興課・土木事務所 ]

(単位：千円)

事業区分	区庁舎・区民利用施設修繕費	施設区分	区庁舎	担当	総務課	予算調整係
			土木事務所		土木事務所	管理係
			区民利用施設		地域振興課	地域活動係

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,307					7,307
前年度	7,350					7,350
増△減	△43	0	0	0	0	△43

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	6,900	5,550	7,800
メリット+一般財源	6,900	5,550	7,800
事業費	3,185	6,894	5,996
メリット+一般財源	3,185	6,894	5,996

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	7,500	7,500
一般財源	7,500	7,500
方針に関する決裁種別( )		
有:件名( )、日付(年月)		
(無)		

(事業目的・概要)  
区庁舎・区民利用施設に関する設備の修繕に対応します。

(根拠法令等)  
横浜市庁舎管理規則等

(積算内訳) (単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
<区庁舎等>	800	800	0	
区庁舎	100	100	0	前年度同額
駐車場			0	
行政サービスコーナー	100	100	0	前年度同額
公用車	600	600	0	前年度同額
<土木事務所関連>	550	550	0	
土木事務所	100	100	0	前年度同額
車両	450	450	0	前年度同額
<区民利用施設>	5,957	6,000	△43	
公会堂	1,000	1,000	0	前年度同額
地区センター等	3,300	3,300	0	前年度同額
こどもログハウス	200	200	0	前年度同額
老人福祉センター	200	200	0	前年度同額
コミュニティハウス	300	300	0	前年度同額
広場・遊び場	957	1,000	△43	実績による減
合計	7,307	7,350	△43	

資料は、公正・適正に作成しました	課長 飯田 晃	係長 馬上 征人	予算調整係 高橋 ちあき
------------------	------------	-------------	-----------------

( 戸塚区 - 修 )

区民利用施設施設概要等一覧(委託・補助)

概要(戸塚)区

種別	事業目的・概要	根拠法令等	名称	所在地	構造	施設内容	管理運営団体		開館年月日
地区センター	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市地区センター条例	戸塚	戸塚町127	RC造地下3階地上4階 延床面積 1,776.1㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和53年10月11日
			大正	原宿3-59-1	RC造地上2階 延床面積 1,881㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和56年12月11日
			東戸塚	川上町4-4	RC造地下1階地上2階 延床面積 1,869.3㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成1年10月28日
			上矢部	上矢部町2342	RC造地上5階 延床面積 1,950㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者	NPOみんなのまちづくりクラブ・NPO建物管理ネットワーク	平成5年5月11日
			舞岡	舞岡町3020-1	RC造地下1階地上2階 延床面積 1,821.8㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者	公益財団法人横浜YMCA	平成10年5月30日
			踊場	汲沢二丁目23番1号	RC造地上2階 延床面積 1,775.2㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成16年2月15日
こどもログハウス	管理運営を管理運営団体に委託します。	都市公園法第2条第2項 横浜市公園条例、横浜市青少年施設条例	踊場公園	汲沢8-11	木造2階建地下1階 205.33㎡	滑り台、登り棒、地下迷路他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成3年6月1日
老人福祉センター	管理運営を管理運営団体に委託します。	老人福祉法、横浜老人福祉条例	戸塚柏桜荘	戸塚町2304-5	RC造地上2階建 延床面積1,669㎡	大広間・機能回復訓練室 生きがい作業室・会議室	指定管理者	社会福祉法人朋光会	平成2年6月14日
老人憩いの家	管理運営を管理運営団体に委託します。	老人福祉法、横浜老人福祉条例、横浜市老人憩いの家運営要綱	—	—	—	—	—	—	平成16年度で廃館
コミュニティハウス	管理運営を管理運営団体に委託します。	コミュニティスクール事業に関する基本事項 コミュニティハウス整備基本方針 コミュニティハウス(学校施設活用型)の設置に関する要綱	深谷小	深谷町1688-2	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成2年4月26日
			東汲沢小	汲沢1-16-1	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成4年4月18日
			平戸台小	平戸町1165	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成4年4月30日
			名瀬中	名瀬町791-6	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成5年6月20日
			秋葉中	秋葉町271-3	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成9年4月30日
			柏尾小	柏尾町1317	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成11年4月24日
			下郷小	戸塚町2447-2	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成13年5月1日
		倉田	上倉田町1867	RC造地上2階建 342㎡	中小会議室、和室他	指定管理者	社会福祉法人 開く会	平成18年10月15日	
横浜市地区センター条例	戸塚	上倉田町477	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建延床面積 3,975㎡	体育室2室、トレーニング室、研修室他	指定管理者	公益財団法人横浜市スポーツ協会	昭和59年4月1日		
スポーツセンター	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市スポーツ施設条例	戸塚	上倉田町477	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建延床面積 3,975㎡	体育室2室、トレーニング室、研修室他	指定管理者	公益財団法人横浜市スポーツ協会	昭和59年4月1日
子供の遊び場	管理運営を管理運営委員会に委託します。	横浜市遊び場要綱	遣ヶ谷	上倉田町135	1,607.0㎡	ブランコ、シーソー		地元管理運営委員会	昭和50年
			子之八幡社	上倉田町977	366.0㎡	ブランコ、滑り台等		地元管理運営委員会	昭和36年
			新生会第二	汲沢7-35-12	1,011.0㎡	ブランコ、滑り台等		地元管理運営委員会	昭和53年
			東明会	汲沢2-17	221.0㎡	ブランコ		地元管理運営委員会	昭和54年
			品川団地	小雀町417	205.0㎡	ブランコ、滑り台等		地元管理運営委員会	昭和44年
			小雀	小雀町1193	1,980.0㎡	ブランコ、滑り台等		地元管理運営委員会	昭和29年
			名瀬一丁目	名瀬町272	231.0㎡	ブランコ、滑り台等		地元管理運営委員会	昭和38年
			名瀬町	名瀬町1773	201.0㎡	ブランコ、滑り台		地元管理運営委員会	昭和46年
			俣野町神明社	俣野町1277	600.0㎡	ブランコ、滑り台等		地元管理運営委員会	昭和46年
			舞岡台	南舞岡4-15	1,470.0㎡	ブランコ、滑り台等		地元管理運営委員会	昭和49年
			踊場	矢部町1626	284.0㎡	ブランコ、滑り台		地元管理運営委員会	昭和37年
			谷矢部東	矢部町871-37	112.0㎡	滑り台、シーソー等		地元管理運営委員会	昭和62年
			矢部町(柳作)	矢部町970-2	276.0㎡	ブランコ、滑り台等		地元管理運営委員会	昭和62年
町のはらっぱ	地元管理運営委員会に対し補助金を支出します	横浜市広場・はらっぱ要綱 戸塚区町のはらっぱ管理運営費補助金交付要領	三角広場	原宿4-22	2,062.53㎡			地元管理運営委員会	平成5年
			打越グラウンド	吉田町1335-1	2,423㎡			地元管理運営委員会	平成18年
			星谷広場	舞岡町285番	1,230㎡			地元管理運営委員会	平成23年
シルバー健康広場	管理運営を管理運営委員会に委託します。	区シルバー健康広場整備並びに管理運営委員会設置要綱	川上第一団地	川上町406-6	1,461.25㎡	ゲートボール場		地元管理運営委員会	平成18年
			柏尾野外活動	柏尾町757	2,145.00㎡	ゲートボール場		地元管理運営委員会	昭和60年